事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12033　　**社会教育運営事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	社会教育総務費		
	大事業	社会教育総務事業		
	中事業	社会教育運営事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉　栄作	435-1138
事業実施の根拠法令	社会教育法、和歌山市社会教育委員条例	関連課	教育委員会各課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	社会教育委員により和歌山市の社会教育の在り方を審議してもらい、市民にとってより良い社会教育を構築する。	社会教育委員定例会議を開催する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	社会教育振興のための指導助言等指導体制の推進を図る。 ・社会教育委員（１２名）	社会教育振興のための指導助言等指導体制の推進を図る。 ・社会教育委員（１２名）	社会教育振興のための指導助言等指導体制の推進を図る。 ・社会教育委員（１２名）	社会教育振興のための指導助言等指導体制の推進を図る。 ・社会教育委員（１２名）	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		225	176	257	160	223	155	253	0	0	0
伸び率（%）		△15.1%	13.5%	14.2%	△9.1%	△13.2%	△3.1%	13.5%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	4,909	3,896	8,266	9,982	8,677	9,314	8,597	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	4,909	3,896	8,266	9,982	8,677	9,314	8,597	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		317	167	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		△92	9	257	160	223	155	253	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.63	0.50	1.06	1.28	1.09	1.17	1.08	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		附属機関委員報酬 188千円、各種会議負担金 35千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	研修回数	回	目標値	3	3	3	3	
			実績値	1	2	3		
			達成度(%)	33%	66%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	社会教育委員定例会議の開催回数	回	目標値	3	3	3	3	
			実績値	3	3	3		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	社会教育行政の振興、発展の役割を担っているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	社会教育行政を推進するため、社会教育委員定例会議において、より広く意見を集め、施策へ反映させていく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12036　**ユネスコ活動推進事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	生涯学習振興費		
	大事業	生涯学習振興事業		
	中事業	ユネスコ活動推進事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉　栄作	435-1138
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	和歌山ユネスコ協会の活動の推進を図るとともに、多くの市民にユネスコ精神を広く普及させる。	ユネスコ活動を展開させることによりユネスコ精神の普及に努め、協会組織の強化を図る事業に対して補助を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		52	45	45	45	45	45	45	0	0	0
伸び率（%）		0%	0%	△13.5%	0%	0%	0%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	234	156	546	78	558	637	558	0	0	0
	正規職員以外	1,349	2,149	2,190	408	248	620	0	0	0	0
	小計	1,583	2,305	2,736	486	806	1,257	558	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		52	45	45	45	45	45	45	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.03	0.02	0.07	0.01	0.07	0.08	0.07	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.27	0.43	0.43	0.08	0.06	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		ユネスコ運営補助金 45千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	会員数	人	目標値	70	70	70	70	
			実績値	58	49	49		
			達成度(%)	82.8%	70%	70%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	新規会員数	人	目標値	10	5	5	5	
			実績値	0	1	0		
			達成度(%)	0%	20%	0%	%	%
	平和の鐘打鐘会参加者数	人	目標値	1300	1300	150	150	
			実績値	130	35	130		
			達成度(%)	10%	2.6%	86.6%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	ユネスコ精神の普及に努めるとともに、協会組織の強化を図る。
見直し・改善内容	会員の高齢化が大きな課題である。若年層への加入の呼びかけに努めたい。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12037　**公民館管理事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	公民館費		
	大事業	公民館事業		
	中事業	公民館管理事業		

事業種別	継続	関連個別計画	生涯学習基本計画		
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉　栄作	435-1193
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	各公民館の諸事業を円滑に実施する。	公民館運営の全般にわたる企画調整及び連絡調整を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	公民館運営のための消耗品等購入 公民館振興大会に要する諸経費	公民館運営のための消耗品等購入 公民館振興大会に要する諸経費	公民館運営のための消耗品等購入 公民館振興大会に要する諸経費	公民館運営のための消耗品等購入 公民館振興大会に要する諸経費	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		696	585	667	597	575	542	575	0	0	0
伸び率（%）		△21%	△14.1%	△4.2%	2.1%	△13.8%	△9.2%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	1,013	780	1,014	1,638	1,433	1,592	1,433	0	0	0
	正規職員以外	822	0	881	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,835	780	1,895	1,638	1,433	1,592	1,433	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		696	585	667	597	575	542	575	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.13	0.10	0.13	0.21	0.18	0.20	0.18	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.33	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		庁用器具費 425千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	館長数	人	目標値	43	43	43	43	
			実績値	43	43	43		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	審議会委員数	人	目標値	10	10	10	10	
			実績値	10	10	10		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	審議会開催数	回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	公民館事業を円滑に実施できているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	公民館活動をさらに市民のニーズに合ったものにするため、公民館運営審議会等において広く意見を集め、事業をより実りのあるものにしていく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12040　　**公民館活動事業（成人祝賀式事業）**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	公民館費		
	大事業	公民館事業		
	中事業	公民館活動事業（成人祝賀式事業）		

事業種別	継続	関連個別計画	生涯学習基本計画	
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課　末吉　栄作	435-1193
事業実施の根拠法令		関連課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	成人式を開催し、新成人に大人への自覚を促すとともに、その前途を祝福・激励する。	はたちのつどい（成人式）を開催する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	はたちのつどい（成人式）の実施	はたちのつどい（成人式）の実施	はたちのつどい（成人式）の実施	はたちのつどい（成人式）の実施	はたちのつどい（成人式）の実施

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		2,812	2,811	2,812	2,798	2,952	2,881	2,952	0	0	0
伸び率（%）		0%	0.1%	0%	△0.5%	5%	3%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	6,857	5,533	6,941	11,697	10,189	10,906	10,030	0	0	0
	正規職員以外	1,132	0	1,228	0	0	0	0	0	0	0
	小計	7,989	5,533	8,169	11,697	10,189	10,906	10,030	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		2,812	2,811	2,812	2,798	2,952	2,881	2,952	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.88	0.71	0.89	1.50	1.28	1.37	1.26	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.43	0.00	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		交付金 2,952千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	はたちのつどい開催	回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	成人祝賀式参加率	%	目標値	62	62	62	62	
			実績値	50.8	54.8	64.7		
			達成度(%)	81.9%	88.4%	104%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	新成人に大人への自覚を促すとともに、その前途を祝福し激励するための成人式が開催できているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	多くの新成人に式典に参加してもらい、また郷土を愛する心を育むため、より一層魅力的な式典内容にしていく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12042　**生涯学習推進事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	生涯学習振興費		
	大事業	生涯学習振興事業		
	中事業	生涯学習推進事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉　栄作	435-1138
事業実施の根拠法令		関連課	全ての課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	生涯学習推進員研修会を通して啓発を行い、生涯学習の総合的かつ効果的な推進を図るため協議会を開催し、推進方策やその他生涯学習に対して協議する。	生涯学習を総合行政としてとらえ、生涯学習の推進を図るため推進員研修会を開催する。 生涯学習推進協議会を設置し、生涯学習の推進についてその方策やその他生涯学習に対して協議する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	生涯学習推進協議会の開催、生涯学習推進員研修会の開催、生涯学習情報の収集・提供（行事・人材バンク情報等）、生涯学習推進計画の策定、家庭教育支援事業の実施、スポーツ少年団に関すること	生涯学習推進協議会の開催、生涯学習推進員研修会の開催、生涯学習情報の収集・提供（行事・人材バンク情報等）、生涯学習推進計画の策定、家庭教育支援事業の実施、スポーツ少年団に関すること	生涯学習推進協議会の開催、生涯学習推進員研修会の開催、生涯学習情報の収集・提供（行事・人材バンク情報等）、生涯学習推進計画の策定、家庭教育支援事業の実施、スポーツ少年団に関すること	生涯学習推進協議会の開催、生涯学習推進員研修会の開催、生涯学習情報の収集・提供（行事・人材バンク情報等）、生涯学習推進計画の策定、家庭教育支援事業の実施、スポーツ少年団に関すること	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		2,942	2,303	2,894	2,482	2,826	2,285	2,621	0	0	0
伸び率（%）		△0.8%	10.9%	△1.6%	7.8%	△2.3%	△7.9%	△7.3%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	9,273	7,481	13,257	15,986	13,930	14,965	13,771	0	0	0
	正規職員以外	0	0	1,293	658	964	1,428	761	0	0	0
	小計	9,273	7,481	14,550	16,644	14,894	16,393	14,532	0	0	0
国庫支出金		149	72	113	81	136	0	135	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		2,793	2,231	2,781	2,401	2,690	2,285	2,486	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	1.19	0.96	1.70	2.05	1.75	1.88	1.73	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.57	0.29	0.38	0.50	0.30	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		附属機関委員報酬 115千円、消耗品 503千円、印刷製本費 143千円、スポーツ少年団交付金 1,060千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	生涯学習推進員研修参加者数	人	目標値	114	109	109	109	
			実績値	0	97	99		
			達成度(%)	0%	88%	90.8%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	生涯学習人材バンク登録者数	人	目標値	125	200	105	110	
			実績値	194	103	105		
			達成度(%)	155%	51%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	「第３次和歌山市生涯学習基本構想及び基本計画」において、各課の事業・講座が生涯学習という「キーワード」でつながっていることが明確化された。この計画に基づき、目標値に向かって、さらに市民の学びの学習機会が拡充していく必要がある。
見直し・改善内容	生涯学習推進員研修会を通して啓発を行い、更に生涯学習の総合的かつ効果的な推進を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12044　　**公民館活動事業（公民館学級）**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	公民館費		
	大事業	公民館事業		
	中事業	公民館活動事業（公民館学級）		

事業種別	継続	関連個別計画	生涯学習基本計画	
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課　末吉　栄作	435-1193
事業実施の根拠法令	社会教育法、公民館条例	関連課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	中央公民館が各種講座を開設し、市民が生涯学習に触れる機会を創出する。	市民大学を運営し、各種教室を開設する。 また、親子チャレンジなどの中央公民館の各種講座を通じて公民館活動を知ってもらう。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	市民大学運営委託 親子チャレンジ教室の実施 中央公民館講座の実施	市民大学運営委託 親子チャレンジ教室の実施 中央公民館講座の実施	市民大学運営委託 親子チャレンジ教室の実施 中央公民館講座の実施	市民大学事業 親子チャレンジ教室の実施 中央公民館講座の実施	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		17,138	15,744	16,840	15,256	16,331	14,723	547	0	0	0
伸び率（%）		4.3%	3.5%	△1.7%	△3.1%	△3%	△3.5%	△96.7%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	7,792	6,312	7,798	13,335	11,622	12,418	12,896	0	0	0
	正規職員以外	1,413	1,528	1,566	3,919	3,306	0	4,649	0	0	0
	小計	9,205	7,840	9,364	17,254	14,928	12,418	17,545	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		61	50	58	0	34	0	35	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		2,717	1,625	2,228	1,556	1,900	1,526	0	0	0	0
一般財源（税等）		14,360	14,069	14,554	13,700	14,397	13,197	512	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	1.00	0.81	1.00	1.71	1.46	1.56	1.62	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.48	0.67	0.48	0.95	0.80	0.00	1.24	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		市民大学運営委託料　15,760千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	講座数 （市民大学事業令和８年度２０、令和７年度まで２８） （中央公民館事業チャレンジ４・中央公民館講座１）	講座	目標値	33	35	35	29	
			実績値	34	37	37		
			達成度(%)	103%	105.7%	80%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	受講者数 （定員：市民大学事業令和８年度４４０、令和７年度まで７４０） （定員：中央公民館事業チャレンジ２００・中央公民館講座４０）	人	目標値	980	980	980	770	
			実績値	777	825	795		
			達成度(%)	79.2%	84.1%	81.1%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	多くの市民が余暇を利用し学ぶ場を提供できているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	公民館活動等に積極的に参加しているのは高齢者が多いため、若い世代の関心を惹きつけるような学びの機会を提供し、学びを通して地域全体を巻き込んだ絆づくりの実現を目指す。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12045　**公民館運営委託事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	公民館費		
	大事業	公民館事業		
	中事業	公民館運営委託事業		

事業種別	継続	関連個別計画	生涯学習基本計画	
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課　末吉　栄作	435-1193
事業実施の根拠法令	社会教育法、公民館条例	関連課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	４２地区公民館及び中央公民館で組織する和歌山市公民館連絡協議会が円滑に運営できるようにする。	４２地区公民館及び和歌山市公民館連絡協議会に運営委託し、公民館事業の運営を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	地区公民館運営委託料の支出 公民館連絡協議会運営委託料の支出	地区公民館運営委託料の支出 公民館連絡協議会運営委託料の支出	地区公民館運営委託料の支出 公民館連絡協議会運営委託料の支出	地区公民館運営委託料の支出 公民館連絡協議会運営委託料の支出	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		14,023	13,893	14,023	14,023	14,023	14,023	14,023	0	0	0
伸び率（%）		0%	0.9%	0%	0.9%	0%	0%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	4,909	3,896	4,913	8,344	7,244	7,801	7,164	0	0	0
	正規職員以外	718	579	792	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5,627	4,475	5,705	8,344	7,244	7,801	7,164	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		14,023	13,893	14,023	14,023	14,023	14,023	14,023	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.63	0.50	0.63	1.07	0.91	0.98	0.90	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.25	0.30	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		地区公民館運営委託料　11,098千円、公民館連絡協議会運営委託料　2,925千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	公民館事業委託数	件	目標値	43	43	43	43	
			実績値	43	43	43		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	教室、講座参加者数	人	目標値	110,000	110,000	110,000	110,000	
			実績値	84,171	84089	91,336		
			達成度(%)	76.5%	76.4%	83.0%	%	%
	公民館フェスティバル入場者数	人	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500	
			実績値	3,947	3,372	3,242		
			達成度(%)	112.7%	96.3%	92.6%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	４２地区公民館で運営されているさまざまな公民館事業は地域の文化向上の役割を担っているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	和歌山市公民館連絡協議会理事会や常日頃の各地区公民館の行事等の、より多くの機会において各地区の公民館活動内容や状況を把握し、円滑で魅力ある公民館運営につなげる。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12047　　**公民館活動事業（各種大会事業）**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	公民館費		
	大事業	公民館事業		
	中事業	公民館活動事業（各種大会事業）		

事業種別	継続	関連個別計画	生涯学習基本計画		
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉　栄作	435-1193
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	館長をはじめとする公民館職員に公民館に関する最新の情報に接してもらい、公民館活動の活性化を図る。	公民館の各種大会・研修会に参加する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	全国公民館研究集会・近畿公民館大会、和歌山県公民館大会及び和歌山県公連研修会への参加	全国公民館研究集会・近畿公民館大会、和歌山県公民館大会及び和歌山県公連研修会への参加	全国公民館研究集会・近畿公民館大会、和歌山県公民館大会及び和歌山県公連研修会への参加	全国公民館研究集会・近畿公民館大会、和歌山県公民館大会及び和歌山県公連研修会への参加	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		55	11	56	0	64	6	64	0	0	0
伸び率（%）		3.8%	0%	1.8%	△100%	14.3%	0%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	1,948	1,559	1,950	3,354	2,866	3,105	2,866	0	0	0
	正規職員以外	397	217	454	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,345	1,776	2,404	3,354	2,866	3,105	2,866	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		55	11	56	0	64	6	64	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.25	0.20	0.25	0.43	0.36	0.39	0.36	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.11	0.06	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		旅費 50千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	参加数	回	目標値	4	4	4	5	
			実績値	3	3	4		
			達成度(%)	75%	75%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	参加者数	人	目標値	80	80	80	80	
			実績値	73	85	57		
			達成度(%)	91.2%	106.2%	71.3%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	最新の公民館活動情報に接することで館長をはじめ公民館職員の研修を進めることができているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	各種研修等に参加して得た情報や学びを深めるため、研修会後の報告等において議論を活発化させ、更に単に学ぶだけではなく、学びの成果を生かす仕組みづくりを検討していく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12053　　**婦人団体育成事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	生涯学習振興費		
	大事業	生涯学習振興事業		
	中事業	婦人団体育成事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉　栄作	435-1138
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	社会の変化に対応し活動することのできる女性団体を育成し、明るく住みよい社会の実現をめざして地域での活動を進める。	和歌山市婦人団体連絡協議会に、婦人団体育成事業を委託し、研修会や女性学級等様々な活動を通してリーダーを育成し、女性の資質や能力の向上に努める。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	和歌山市婦人大会開催、地域別市民実践活動 各学級及び発表会等開催、婦人国内研修参加 婦人総合体育大会開催、婦人団体リーダー研修会開催	和歌山市婦人大会開催、地域別市民実践活動 各学級及び発表会等開催、婦人国内研修参加 婦人総合体育大会開催、婦人団体リーダー研修会開催	和歌山市婦人大会開催、地域別市民実践活動 各学級及び発表会等開催、婦人国内研修参加 婦人総合体育大会開催、婦人団体リーダー研修会開催	和歌山市婦人大会開催、地域別市民実践活動 各学級及び発表会等開催、婦人国内研修参加 婦人総合体育大会開催、婦人団体リーダー研修会開催	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		1,915	1,915	1,843	1,843	1,843	1,843	1,843	0	0	0
伸び率（%）		△7.3%	△7.3%	△3.8%	△3.8%	0%	0%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	4,909	3,896	8,266	9,982	8,677	9,314	8,597	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	4,909	3,896	8,266	9,982	8,677	9,314	8,597	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		1,915	1,915	1,843	1,843	1,843	1,843	1,843	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.63	0.50	1.06	1.28	1.09	1.17	1.08	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		婦人団体育成事業委託料 1,843千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	研修会数	件	目標値	6	6	6	6	
			実績値	6	6	5		
			達成度(%)	100%	100%	83.3%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	研修会参加者数(会長・リーダー研修、県婦連研修)	人	目標値	300	300	144	132	
			実績値	145	160	165		
			達成度(%)	48.3%	53%	114.5%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	様々な活動を通してリーダーを育成、女性の資質や能力の向上が見込める。
見直し・改善内容	若い世代を会員に取り込むため、会議・研修会等の開催日時を参加しやすい時間帯に改善する。

事務事業チェックシート

事務事業No　12041　　事業名　コミュニティセンター管理運営事業（南）

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	コミュニティセンター費		
	大事業	コミュニティセンター事業		
	中事業	コミュニティセンター管理運営事業（南）		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉　栄作	435-1193
事業実施の根拠法令		関連課	読書活動推進課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	コミュニティセンターの管理運営に要する諸経費	和歌山市南コミュニティセンターの管理運営に要する経費

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	管理運営委託、設備の整備・充実等	管理運営委託、設備の整備・充実等	管理運営委託、設備の整備・充実等	管理運営委託、設備の整備・充実等	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		30,847	28,728	39,209	39,790	57,968	52,305	47,399	0	0	0
伸び率（%）		67.4%	53.4%	27.1%	38.5%	47.8%	31.5%	△18.2%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	5,844	4,676	5,849	6,629	5,811	6,209	5,732	0	0	0
	正規職員以外	18,996	27,213	19,696	15,004	15,928	12,885	19,210	0	0	0
	小計	24,840	31,889	25,545	21,633	21,739	19,094	24,942	0	0	0
国庫支出金		1,073	3,958	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	15,100	12,513	4,000	0	0	0
そ の 他		3,806	4,846	4,464	5,664	5,737	5,022	6,055	0	0	0
一般財源（税等）		25,968	19,924	34,745	34,126	37,131	34,770	37,344	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.75	0.60	0.75	0.85	0.73	0.78	0.72	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	5.72	8.65	5.72	6.63	6.47	5.84	8.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		整備工事請負費　16,863千円、会計年度任用職員報酬　8,533千円、図書購入費　6,657千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	講座、教室等の実施数	件	目標値	15	15	20	30	
			実績値	20	28	28		
			達成度(%)	133%	186.7%	140.0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	コミュニティセンター稼働率	%	目標値	30	30	30	35	
			実績値	29.0	33.5	31.4		
			達成度(%)	96.7%	111.7%	104.7%	%	%
	貸出資料数（図書室）	点	目標値	30,000	30,000	30,000	38,000	
			実績値	25,400	33,437	36,899		
			達成度(%)	84.7%	111.5%	123.0%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				○
現状維持				
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	市民の生涯学習活動を支援するため、図書に関する設備を充実させていく必要がある。
見直し・改善内容	南コミュニティセンターの図書室の充実を図ることで、生涯学習活動の一層の充実を図っていく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12050　**地区集会所管理事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	人権教育費		
	大事業	人権教育事業		
	中事業	地区集会所管理事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉　栄作	435-1138
事業実施の根拠法令	和歌山市地区集会所条例	関連課	青少年課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	地区集会所を維持管理し、地区住民の集会や様々な教育活動に利用できるような状態に維持し、住民の教育の向上、生活文化の振興、健康の増進に寄与する。	地区集会所の維持管理。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	地区集会所の維持管理・充実 耐震補強設計	地区集会所の維持管理・充実 耐震補強設計	地区集会所の維持管理・充実 耐震補強設計	地区集会所の維持管理・充実 耐震補強設計	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		7,277	7,446	6,791	6,744	9,357	5,666	8,958	0	0	0
伸び率（%）		83.1%	84.4%	△6.7%	△9.4%	37.8%	△16%	△4.3%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	3,896	3,117	5,537	6,629	5,811	6,209	5,732	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,896	3,117	5,537	6,629	5,811	6,209	5,732	0	0	0
国庫支出金		0	1,300	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		2,700	1,900	2,300	2,000	4,400	1,000	2,800	0	0	0
そ の 他		8	106	8	8	7	18	9	0	0	0
一般財源（税等）		4,569	4,140	4,483	4,736	4,950	4,648	6,149	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.50	0.40	0.71	0.85	0.73	0.78	0.72	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		報償金 390千円、消耗品費 153千円、光熱水費 2,964千円、所々修繕料 1,038千円、手数料 366千円、火災保険料 61千円、管理委託料 172千円、整備工事請負費 4,213千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	耐震診断	件	目標値	1	1	1	1	
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	施設の修繕	件	目標値	1	1	1	1	
			実績値	9	11	5		
			達成度(%)	900%	1100%	500%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	各集会所利用者数は横ばいであり、維持管理は必須であるため、現状維持。
見直し・改善内容	どの会館も建物・設備・備品が老朽化しており、各会館の状況と各運営委員会の要望調査を行い、効率的・効果的な予算執行を行う。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12051　**教育文化センター管理事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	教育総務費		
	目	教育文化センター費		
	大事業	教育文化センター事業		
	中事業	教育文化センター管理事業		

事業種別	継続	関連個別計画	生涯学習基本計画	
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課　末吉　栄作	435-1193
事業実施の根拠法令	教育文化センター条例	関連課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	教育文化センターを支障なく使用できるよう管理運営する。	施設が円滑に機能していくよう、必要な修繕や業務の委託、物品購入などを行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	教育文化センターの管理	教育文化センターの管理	教育文化センターの管理	教育文化センターの管理	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		8,050	6,718	7,655	7,588	7,061	6,674	8,043	0	0	0
伸び率（%）		51.9%	8%	△4.9%	13%	△7.8%	△12%	13.9%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	1,948	1,559	1,950	3,354	2,866	3,105	1,433	0	0	0
	正規職員以外	668	951	726	2,096	1,982	2,068	431	0	0	0
	小計	2,616	2,510	2,676	5,450	4,848	5,173	1,864	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		8,050	6,718	7,655	7,588	7,061	6,674	8,043	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.25	0.20	0.25	0.43	0.36	0.39	0.18	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.25	0.44	0.25	1.08	0.92	0.96	0.20	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		庁用燃料費 1,931千円、光熱水費 3,334千円、所々修繕料 420千円、管理委託料 1,260千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	修繕数	件	目標値	3	3	3	2	
			実績値	2	2	4		
			達成度(%)	66.7%	66.7%	133.3%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	会議室貸出件数	件	目標値	600	600	600	600	
			実績値	610	605	486		
			達成度(%)	101.6%	100.8%	81.0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	公民館活動等の拠点となるため、修繕等により現状を維持することが妥当である。
見直し・改善内容	施設や備品を丁寧に扱うことを心がけ、新たな修繕が必要にならないように努める。

事務事業チェックシート

事務事業No	事業名
15025	コミュニティセンター管理運営事業（指定管理分）（生涯

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業			
	中事業			

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	末吉　栄作	435-1193
事業実施の根拠法令		関連課	読書活動推進課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	市民の生涯学習、文化、地域活動の振興及び図書室の利用で、生活の向上、自己の充実を目指し、各人が自発的意思に基づいて学習できるようにする。	生涯学習活動の場として各種の講座を開設し、市民の学習活動を支援。 文化活動及び地域活動の場として、自主団体に会場を貸出。 市民図書館とネットワークを組み、資料の貸出しなど図書室を運営。 管理運営の方法として、東部・河南・河西・河北・中央・北・西コミュニティセンターに指定管理者制度導入。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書室の運営	・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書室の運営	・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書室の運営	・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書室の運営	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		412,504	385,813	545,306	500,128	455,707	429,286	469,357	0	0	0
伸び率（%）		△11.5%	△15.1%	32.2%	29.6%	△16.4%	△14.2%	3%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	17,532	14,104	17,546	26,670	23,244	24,915	23,005	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	3,919	3,554	3,554	1,207	0	0	0
	小計	17,532	14,104	17,546	30,589	26,798	28,469	24,212	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		12,100	14,500	128,800	100,900	3,900	3,800	18,900	0	0	0
そ の 他		38,419	43,036	40,757	43,333	48,676	48,833	47,109	0	0	0
一般財源（税等）		361,985	328,277	375,749	355,895	403,131	376,653	403,348	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	2.25	1.81	2.25	3.42	2.92	3.13	2.89	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.95	0.86	0.86	0.56	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		管理運営委託料　430,061千円、図書購入費　7,064千円、駐車場使用料　6,103千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	講座、教室等の実施数	件	目標値	160	160	170	250	
			実績値	165	169	245		
			達成度(%)	103.1%	105.6%	144.1%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	コミュニティセンター稼働率（図書室利用者を除く。）	%	目標値	60	60	60	60	
			実績値	50.2	48.9	50.2		
			達成度(%)	83.7%	81.5%	83.7%	%	%
	貸出資料数（図書室） ※河西及び西コミュニティセンターには図書室がありません。	点	目標値	610,000	610,000	610,000	610,000	
			実績値	508,266	480,006	481,117		
			達成度(%)	83.3%	78.7%	78.8%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	各コミュニティセンターの利用者は減少しているが、図書室とともに一定数以上の利用をいただいている。その上で、使用者が安心して施設を利用できるよう、一定件数以上の修繕に取り組んでいる。
見直し・改善内容	施設経年劣化による施設の不具合に対応した修繕が増えている。そのため、使用者が安心して快適に使用できるよう、日常点検により、不具合の早期発見に努め、施設の維持管理を行う。

事務事業チェックシート

事務事業No　15382　　事業名　**図書館管理運営事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	図書館費		
	大事業	図書館事業		
	中事業	図書館管理運営事業		

事業種別	継続	関連個別計画	第3次和歌山市子供読書活動推進計画、第3次教育振興基本計画		
事業年度	平成31年度　～　無し	担当課・担当課長・Tel	読書活動推進課	小仲容志子	435-1165
事業実施の根拠法令	図書館法、和歌山市民図書館条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	図書館サービス事業を実施し、市民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。	市民の教育と文化の発展に寄与するため、図書館法第３条に定める図書館サービスの事業を実施するための経費

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。	図書館サービスの充実・向上を図り、指定管理者による適正かつ円滑な管理運営を行うとともに市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		594,284	577,137	367,037	378,404	372,932	372,569	403,547	0	403,547	0
伸び率（%）		52.5%	45.3%	△38.2%	△34.4%	1.6%	△1.5%	8.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	30,078	28,675	28,697	28,229	28,816	28,656	25,711	0	25,711	0
	正規職員以外	1,044	1,044	1,043	1,043	1,319	1,369	3,727	0	3,727	0
	小計	31,122	29,719	29,740	29,272	30,135	30,025	29,438	0	29,438	0
国庫支出金		1,598	89,645	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		5,273	4,939	5,001	15,151	5,258	5,371	5,471	0	5,471	0
一般財源（税等）		587,413	482,553	362,036	363,253	367,674	367,198	398,076	0	398,076	0
所要人数（人）	正規職員	3.86	3.68	3.68	3.62	3.62	3.60	3.23	0.00	3.23	0.00
	正規職員以外	0.46	0.46	0.46	0.46	0.52	0.54	1.47	0.00	1.47	0.00
主な予算内訳		令和7年度当初予算：和歌山市民図書館に係る指定管理料336,635千円、和歌山市民図書館コンピュータシステム保守管理業務委託料13,744千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	和歌山市民図書館本館の蔵書数	冊	目標値	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
			実績値	523,194	533,584	538,478		
			達成度(%)	87%	89%	90%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	市民１人当たりの貸出資料数（コミュニティセンター図書室を含む）	冊	目標値	7.5	6	6	6	6
			実績値	4.5	4.5	4.4		
			達成度(%)	60%	75%	73%	%	%
	和歌山市民図書館本館の来館者数	人	目標値	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
			実績値	795,294	778,392	823,522		
			達成度(%)	80%	78%	82%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実			○	
現状維持				
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	来館者数は、新館移転後、令和６年度を除き年々増加している。また、利用者数・貸出冊数ともに移転前より高い水準を維持しているものの、直近の５年間でみると減少傾向にある。一方で、利用者アンケートにおいては、継続して９割以上の方から満足という評価をいただいている。
見直し・改善内容	新規利用者を呼び込み、さらなる来館者の増加を目指し、指定管理者が企画する行事について、妥当性の確認と効果の検証を行うことで図書館サービスの充実につなげる。また、既存の利用者に対しても蔵書構成を充実させることにより、利用の定着を促す。 新館は居心地良く滞在できる図書館を目指しているため、館内で本を読んで過ごす方も増加した。貸出資料数だけではない新たな指標も検討する。

事務事業チェックシート

事務事業No　20915　　事業名　**和歌山城ホール管理運営事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	和歌山城ホール費		
	大事業	和歌山城ホール費		
	中事業	和歌山城ホール管理運営事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山城ホール条例、和歌山城ホール条例施行規則	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	和歌山城ホールを安全に利用できるように維持管理する。	和歌山城ホールを安全に利用するための維持管理事業

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者　公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者　株式会社ケイミックスパブリックビジネス	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者　株式会社ケイミックスパブリックビジネス	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者　株式会社ケイミックスパブリックビジネス	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者　株式会社ケイミックスパブリックビジネス

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		164,188	142,402	152,468	144,310	151,834	142,947	154,102	0	154,102	0
伸び率（%）		7%	△7.2%	△7.1%	1.3%	△0.4%	△0.9%	1.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	30,467	30,467	8,032	9,280	6,209	8,518	8,518	0	0	0
	正規職員以外	1,294	1,294	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	31,761	31,761	8,032	9,280	6,209	8,518	8,518	0	0	0
国庫支出金		2,434	1,741	3,000	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		4,598	1,877	5,142	1,650	5,779	4,615	5,735	0	5,735	0
一般財源（税等）		157,156	138,784	144,326	142,660	146,055	138,332	148,367	0	148,367	0
所要人数（人）	正規職員	3.91	3.91	1.03	1.19	0.78	1.07	1.07	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.57	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		管理運営委託料　150,994千円　等									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	自主事業開催数	回	目標値	29	29	29	29	29
			実績値	46	34	42		
			達成度(%)	158%	117%	144%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	自主事業入場者数	人	目標値	5000	5000	5000	5000	5000
			実績値	16172	6607	14242		
			達成度(%)	323%	132%	287%	%	%
	施設利用件数	件	目標値	8000	8000	8000	8000	8000
			実績値	19688	22848	26327		
			達成度(%)	246%	285%	298%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	施設を適切に維持管理し、市民の文化芸術活動の場として提供することで文化振興に寄与する。
見直し・改善内容	「にぎわいの文化交流拠点」を目指し、より一層施設の周知・広報を行いながら利用者の増加を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

9587　　**偉人先人顕彰事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	偉人先人顕彰事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	本市の名を高めた個人を、誇るべき郷土の人物として市民に広く知らしめ、市民のふるさと意識の高揚に資する。	本市の出身者又は本市にゆかりの深い者のうち、近現代史上、教育、学術、芸術、スポーツ、産業その他の分野において文化の発展に貢献し、本市の名を高めるうえで顕著な功績があった個人を顕彰し、その功績を紹介する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	偉人・先人について、市のホームページや小冊子などで広く紹介。	偉人・先人について、市のホームページや小冊子などで広く紹介。	偉人・先人について、市のホームページや小冊子などで広く紹介。	偉人・先人について、市のホームページや小冊子などで広く紹介。	偉人・先人について、市のホームページや小冊子などで広く紹介。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伸び率（%）		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	1,637	1,637	3,198	1,560	1,513	1,672	1,672	0	0	0
	正規職員以外	1,150	1,150	0	784	0	0	0	0	0	0
	小計	2,787	2,787	3,198	2,344	1,513	1,672	1,672	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.21	0.21	0.41	0.20	0.19	0.21	0.21	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.23	0.23	0.00	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		委託料：0千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	各種偉人・先人顕彰事業の実施回数（冊子や事績看板の製作など）	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	偉人・先人顕彰事業に関する広報の実施回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	本市の発展に寄与し、本市の名を高める上で顕著な功績のあった者を顕彰することにより、偉人・先人に敬意を払うとともに、彼等の功績等を後世に語り継いでいくことで、市民のふるさと意識の高揚に資するなど重要な事業であるため。
見直し・改善内容	本市の偉人・先人の功績などを市民に広く知ってもらえるような取組を継続し、本事業の充実を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

11278　**楽しい歌声の会開催委託事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	楽しい歌声の会開催委託事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	合唱活動の輪が広がるように、団体の育成を目指す。	市内のコーラスグループの発表会である和歌山市楽しい歌声の会を開催する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	市内のコーラスグループの発表会である和歌山市楽しい歌声の会を開催する。参加コーラスグループ28団体、約500名が参加し、和歌山城ホール大ホールで開催。	市内のコーラスグループの発表会である和歌山市楽しい歌声の会を開催する。参加コーラスグループ34団体 約600名、和歌山城ホール大ホールで開催。	市内のコーラスグループの発表会である和歌山市楽しい歌声の会を開催する。参加コーラスグループ34団体 約600名、和歌山城ホール小ホールで開催。	市内のコーラスグループの発表会である和歌山市楽しい歌声の会を開催する。参加コーラスグループ31団体 約600名、和歌山城ホール小ホールで開催予定。	市内のコーラスグループの発表会である和歌山市楽しい歌声の会を開催する。参加コーラスグループ31団体 約600名、和歌山城ホール小ホールで開催予定。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		315	315	315	315	315	315	315	0	315	0
伸び率（%）		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,637	1,637	1,638	1,560	1,513	1,672	1,672	0	0	0
	正規職員以外	1,150	1,150	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,787	2,787	1,638	1,560	1,513	1,672	1,672	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		315	315	315	315	315	315	315	0	315	0
所要人数（人）	正規職員	0.21	0.21	0.21	0.20	0.19	0.21	0.21	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.23	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		委託料３１５千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	発表会開催数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	参加団体数	団体	目標値	31	31	31	31	31
			実績値	28	34	34		
			達成度(%)	90.3%	109.6%	109.6%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	令和7年度は昨年と同等の参加団体及び参加人数となった。本事業は合唱を発信する貴重な機会であり、本市における音楽団体の育成を図るとともに、音楽風土の維持・向上に寄与しているため。
見直し・改善内容	参加団体との更なる連携に努め、歌うことのすばらしさを長く発信し続けられるような発表会の充実を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

11280　　**市民文化まつり開催交付金事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	市民文化まつり開催交付金事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	本市の文化振興及び市民の情操教育に寄与する。	各種文化団体による舞台芸術の発表及び一般市民への芸術鑑賞の場を提供する。 和歌山城ホールほかにおいて、年間21事業（舞踊・合唱・民謡・オペラ等）を開催する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	和歌山城ホールを中心に通年開催（実施事業18） （新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業中止）	和歌山城ホールを中心に通年開催。（実施事業17） （全国演奏会への出演時期が市民文化まつりと重複するため1事業が中止、予算等を鑑み開催準備が整わないため3事業が中止）	和歌山城ホールを中心に通年開催。（実施事業20） （予算等を鑑み開催準備が整わないため１事業が中止）	和歌山城ホールを中心に通年開催。参加団体21団体	和歌山城ホールを中心に通年開催。参加団体21団体

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		950	800	950	750	950	893	950	0	950	0
伸び率（%）		0%	14.8%	0%	△6.2%	0%	19.1%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,273	3,273	6,395	4,679	4,617	5,095	5,095	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,273	3,273	6,395	4,679	4,617	5,095	5,095	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		950	800	950	750	950	893	950	0	950	0
所要人数（人）	正規職員	0.42	0.42	0.82	0.60	0.58	0.64	0.64	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		負担金、補助及び交付金　９５０千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	実施事業数	事業	目標値	21	21	21	21	21
			実績値	18	17	20		
			達成度(%)	85.7%	80.9%	95.2%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	参加人数	人	目標値	3,500	3,500	3500	3500	3500
			実績値	2061	2238	2207		
			達成度(%)	58.8%	63.9%	62.9%	%	%
	延べ入場者数	人	目標値	15,000	15,000	15000	15000	15000
			実績値	8210	9278	10210		
			達成度(%)	54.7%	61.8%	69.1%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	昭和５５年から始まった事業であり、和歌山市における総合的な文化イベントとして定着している。 ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業を中止していたが、令和４年度は１６事業、令和５年度は１８事業、令和６年度は１７事業、令和7年度は２０事業となり、参加団体数の水準が戻った。
見直し・改善内容	市民文化まつり実行委員会とのさらなる連携に努め、各種の舞台芸術について、創造力や演技力を高めるとともに、市民に広く鑑賞の場を提供できるよう図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

11281　**真舟芸術振興基金事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	真舟芸術振興基金事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市真舟芸術振興基金条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	伝統文化の承継を目的とする。	書道家の故山本真舟氏の遺族から頂戴した寄付金を基に基金を設定。基金を活用し書道講習会事業を実施。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	書道講習会事業 夏期８月１８日～２０日 受講者２２人 若手芸術家育成事業（１団体） 入場者４７６人	書道講習会事業 ８月１７日～１８日 受講者２９人 かな書展 ３月２２日～２４日 若手芸術家育成事業（1団体） 入場者３８３人	若手芸術家育成事業（１団体） 入場者３４５人	若手芸術家育成事業	若手芸術家育成事業

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		3,026	1,477	2,386	2,363	872	471	873	0	873	0
伸び率（%）		1.3%	△27%	△21.2%	60%	△63.5%	△80.1%	0.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,273	0	6,395	6,161	3,105	3,423	3,423	0	0	0
	正規職員以外	829	0	0	784	0	0	0	0	0	0
	小計	4,102	0	6,395	6,945	3,105	3,423	3,423	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		3,026	1,477	2,386	2,363	872	471	873	0	873	0
一般財源（税等）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.42	0.00	0.82	0.79	0.39	0.43	0.43	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.23	0.00	0.00	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		若手芸術家育成補助金　４００千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	講習会等開催数	回	目標値	3	3	2	2	2
			実績値	1	3	1		
			達成度(%)	33.3%	100%	50%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	講習会等参加者数	人	目標値	400	400	400	400	400
			実績値	498	412	345		
			達成度(%)	124.5%	109%	86%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	令和７年度は、若手芸術家支援事業を実施し、本市の若手芸術家の育成を推進するとともに、優れた文化芸術に触れる機会を広く市民に提供することができた。
見直し・改善内容	若手芸術家育成事業について、対象者の知名度や集客力の向上ができるよう、さらなる広報の強化と芸術家の育成を推進していくとともに、市民に優れた文化芸術に触れる機会を広く提供することを目指す。

事務事業チェックシート

事務事業No　11285　　事業名　**和歌山市美術展覧会事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	和歌山市美術展覧会事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市文化芸術推進基本計画	
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課　増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市美術展覧会審査会条例	関連課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	本市における美術工芸の振興と鑑賞愛好の精神を高め、市民の文化水準の向上を図る。	洋画・日本画・書道・写真・彫塑・工芸の6部門の公募による美術展覧会を開催する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	7部門の作品の搬入搬出、応募作品の審査・展示、入賞者への表彰式開催、ギャラリートークの実施	6部門の作品の搬入搬出、応募作品の審査・展示、入賞者への表彰式開催、ギャラリートークの実施	6部門の作品の搬入搬出、応募作品の審査・展示、入賞者への表彰式開催、ギャラリートークの実施	6部門の作品の搬入搬出、応募作品の審査・展示、入賞者への表彰式開催、ギャラリートークの実施	6部門の作品の搬入搬出、応募作品の審査・展示、入賞者への表彰式開催、ギャラリートークの実施

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		3,218	2,817	2,954	2,706	2,986	2,883	2,983	0	2,983	0
伸び率（%）		7.3%	36%	△8.2%	△3.9%	1.1%	6.5%	△0.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,832	0	8,032	6,161	4,617	5,095	5,095	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	207	0	0	0	0	0	0
	小計	4,832	0	8,032	6,368	4,617	5,095	5,095	0	0	0
国庫支出金		0	0	918	1,234	969	1,349	956	0	956	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		1,295	500	795	520	795	468	795	0	795	0
一般財源（税等）		1,923	2,317	1,241	952	1,222	1,066	1,232	0	1,232	0
所要人数（人）	正規職員	0.62	0.00	1.03	0.79	0.58	0.64	0.64	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		委託料2,217千円　賞賜金287千円　印刷製本費322千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	応募者数	人	目標値	500	500	500	500	500
			実績値	416	426	387		
			達成度(%)	83%	85%	77%	%	%
	開催日数	日	目標値	24	24	18	18	18
			実績値	24	18	18		
			達成度(%)	100%	75%	100%	%	%
成果指標	入賞者数	人	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	48	45	47		
			達成度(%)	68%	64%	67%	%	%
	入場者数	人	目標値	3,400	3,400	3400	3400	3400
			実績値	3790	3267	2968		
			達成度(%)	111%	96%	87%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	令和７年度は令和６年度に比べ、応募者数、入場者数は減少したが、開催日数や入賞者数は現状維持となった。今後も市民の文化活動の発表の場として実施することで、市民の文化水準の向上を図る。
見直し・改善内容	応募者数と入場者数の増加に向けて、事業の広報徹底に取り組む。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

11286　**文化団体活動支援事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	文化団体活動支援事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市文化振興補助金交付要綱	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	本市の文化振興及び市民の情操教育に寄与する。	各種文化団体が行う事業に対し補助金を交付することにより活動を支援する。（９事業）

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	各団体が行う事業に対し補助金を交付する。（９事業）	各団体が行う事業に対し補助金を交付する。（９事業）	各団体が行う事業に対し補助金を交付する。（１０事業）	各団体が行う事業に対し補助金・交付金を交付する。	各団体が行う事業に対し補助金・交付金を交付する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		1,136	1,038	1,275	1,068	2,301	1,981	2,266	0	2,266	0
伸び率（%）		△13%	3.1%	12.2%	2.9%	80.5%	85.5%	△1.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,273	3,273	6,395	3,120	6,209	6,846	6,846	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,273	3,273	6,395	3,120	6,209	6,846	6,846	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	513	442	513	0	513	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		1,136	1,038	1,275	1,068	1,788	1,539	1,753	0	1,753	0
所要人数（人）	正規職員	0.42	0.42	0.82	0.40	0.78	0.86	0.86	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		負担金、補助及び交付金　１，275千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	支援団体数	団体	目標値	9	9	10	9	9
			実績値	9	8	9		
			達成度(%)	100%	89%	90%	%	%
	会員数	人	目標値	1,400	1300	1300	1300	1300
			実績値	1192	1193	1144		
			達成度(%)	85%	91%	88%	%	%
成果指標	事業実施回数	回	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	38	33	38		
			達成度(%)	95%	82.5%	95%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	各種文化団体が実施する事業は、文化振興及び情操教育に寄与するため。
見直し・改善内容	適切に文化芸術の発表や市民に広く鑑賞の場を提供できるよう図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

11293　**文化表彰事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	文化表彰事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市文化表彰規程、文化表彰選考委員会条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	更なる文化の向上に寄与する。	和歌山市の文化向上発展に特に顕著な功績のある個人又は団体に対し和歌山市文化表彰規程の定めるところにより表彰を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	和歌山市文化表彰選考委員会の開催、被表彰者の決定（文化賞１名文化功労賞２名文化奨励賞１名１団体）、和歌山市文化表彰式の開催	和歌山市文化表彰選考委員会の開催、被表彰者の決定（文化賞１名文化功労賞２名文化奨励賞１名１団体）、和歌山市文化表彰式の開催	和歌山市文化表彰選考委員会の開催、被表彰者の決定（文化賞１名文化功労賞２名文化奨励賞１名１団体）、和歌山市文化表彰式の開催	和歌山市文化表彰選考委員会の開催、被表彰者の決定（文化賞１名文化功労賞２名文化奨励賞１名１団体）、和歌山市文化表彰式の開催	和歌山市文化表彰選考委員会の開催、被表彰者の決定（文化賞１名文化功労賞２名文化奨励賞１名１団体）、和歌山市文化表彰式の開催

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		1,248	1,225	1,279	1,262	1,309	1,310	1,382	0	1,382	0
伸び率（%）		3.1%	3.9%	2.5%	3%	2.3%	3.8%	5.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,832	4,832	8,032	6,161	4,617	5,095	5,095	0	0	0
	正規職員以外	300	300	1,197	784	0	0	0	0	0	0
	小計	5,132	5,132	9,229	6,945	4,617	5,095	5,095	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		1,248	1,225	1,279	1,262	1,309	1,310	1,382	0	1,382	0
所要人数（人）	正規職員	0.62	0.62	1.03	0.79	0.58	0.64	0.64	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.06	0.06	0.29	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		賞賜金７１６千円　印刷製本費１７５千円　会場その他借上げ料１７８千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	候補者数	人	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	24	22	16		
			達成度(%)	160%	146%	107%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	受賞者数	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	5	5		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	昭和５７年に創設された歴史と伝統のある表彰であり、本市の文化向上発展に寄与する事業である。
見直し・改善内容	候補者や候補団体を検討するうえで、日頃から文化活動を行っている個人や団体の情報収集に努める。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

11301　　**文化的風土の醸成事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	文化的風土の醸成事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令		関連課	読書活動推進課、和歌山城整備企画課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	本市の文化の振興	本市が輩出した著名な文化人を広く知らしめ、文化の発信と文化的風土の醸成を図る事業を実施。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	有吉佐和子記念館の管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施等。 有吉佐和子文学賞の実施。	有吉佐和子記念館の管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施。 有吉佐和子文学賞の実施。	有吉佐和子記念館の管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施等	有吉佐和子記念館の管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施等	有吉佐和子記念館の管理運営、文化的風土の醸成に関するイベント実施等

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		12,294	11,930	11,608	11,447	11,669	11,530	11,778	0	11,778	0
伸び率（%）		11.1%	△26.9%	△5.6%	△4%	0.5%	0.7%	0.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,832	4,832	0	7,721	6,209	8,518	13,612	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	413	0	0	0	0	0	0
	小計	4,832	4,832	0	8,134	6,209	8,518	13,612	0	0	0
国庫支出金		1,438	1,350	715	528	565	562	583	0	583	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		11,463	10,378	1,411	1,101	1,229	999	1,254	0	1,254	0
一般財源（税等）		△607	202	9,482	9,818	9,875	9,969	9,941	0	9,941	0
所要人数（人）	正規職員	0.62	0.62	0.00	0.99	0.78	1.07	1.71	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		管理運営委託料9,949千円、業務委託料　500千円　等									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	イベント開催数	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	有吉佐和子文学賞の実施	回数	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	参加者数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	327	246	100		
			達成度(%)	327%	246%	100%	%	%
	有吉佐和子文学賞への応募作品数	点	目標値	500	1000	1000	1000	1000
			実績値	2077	1512	1314		
			達成度(%)	415.4%	151.2%	131.4%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	有吉佐和子記念館における資料の展示公開やイベントの開催など継続的に行い、文化的風土を醸成する。 文学の振興を図るため、令和５年度に創設した有吉佐和子文学賞を継続して実施する。
見直し・改善内容	記念館でのイベントの充実を図るとともに、有吉佐和子文学賞を実施し、文化的風土のさらなる醸成に努める。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

11303　　**和歌山音楽大行進開催委託事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	和歌山音楽大行進開催委託事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令		関連課	青少年課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	吹奏楽の演奏を通して、音楽文化の向上を図り、文化的で明るいまちづくりに寄与する。	参加団体の吹奏楽の演奏により実施する和歌山音楽大行進を開催する。 ・和歌山音楽大更新開催委託先 和歌山音楽大行進実行委員会　委員長　山本　晃平 ・参加団体 保育所・小学校・中学校・高等学校吹奏楽部他

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	吹奏楽によるパレードの開催。令和５年度はディズニーパレードも参加。	吹奏楽によるパレードの開催事業を和歌山音楽大行進実行委員会に委託する。	吹奏楽によるパレードの開催事業を和歌山音楽大行進実行委員会に委託する。令和７年度はけやきスペシャルパレードも開催。	吹奏楽によるパレードの開催事業を和歌山音楽大行進実行委員会に委託する。	吹奏楽によるパレードの開催事業を和歌山音楽大行進実行委員会に委託する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		7,444	7,437	2,656	2,513	2,652	10,094	2,747	0	2,747	0
伸び率（%）		183.5%	188.8%	△64.3%	△66.2%	△0.2%	301.7%	3.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,832	4,832	8,032	6,161	10,826	13,612	6,846	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	578	0	0	0	0	0	0
	小計	4,832	4,832	8,032	6,739	10,826	13,612	6,846	0	0	0
国庫支出金		3,380	3,429	1,275	1,196	1,261	4,982	1,295	0	1,295	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		4,064	4,008	1,381	1,317	1,391	5,112	1,452	0	1,452	0
所要人数（人）	正規職員	0.62	0.62	1.03	0.79	1.36	1.71	0.86	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		和歌山音楽大行進開催委託料　２，６５２千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	委員会の開催	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	参加者数	人	目標値	1,500	1500	1500	1500	1500
			実績値	1,300	1200	1680		
			達成度(%)	86.7%	80%	112%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実			○	
現状維持				
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	吹奏楽の演奏を通して、音楽文化の向上・発展に寄与する事業である。また、こどもの日のイベントである本市教育委員会主催の子どもなかよしまつりと同時に開催することで、観光客の集客に効果を発揮する事業である。
見直し・改善内容	パレード参加者である生徒・児童の吹奏楽を通じた育成を図るとともに、プログラムの充実等を行い、市内外からの観客の増加を目指す。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

13576　**文化芸術推進基本計画策定事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	文化芸術推進基本計画策定事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	文化芸術基本法、和歌山市文化芸術基本条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	文化芸術推進基本計画を策定し、目標達成のための施策を明確化し、各関連分野との連携を図ることで本市の文化芸術の向上発展を図る。	平成２９年６月に文化芸術振興基本法が文化芸術基本法へと改正され、地方公共団体が定める「地方文化芸術推進基本計画」（努力義務）が規定された。 本市においても令和元年７月２４日に和歌山市文化芸術基本条例を施行し、本市の文化芸術施策を総合的かつ計画的に推進するための文化芸術推進基本計画を策定した。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	文化芸術推進基本計画の前年度進捗状況を調査確認した。	文化芸術推進基本計画の前年度進捗状況を調査確認し、必要に応じて対応を協議する。	文化芸術推進基本計画の前年度進捗状況を調査確認し、必要に応じて対応を協議する。	文化芸術推進基本計画の前年度進捗状況を調査確認し、必要に応じて対応を協議する。	文化芸術推進基本計画の前年度進捗状況を調査確認し、必要に応じて対応を協議する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		0	0	0	0	0	0	367	0	0	0
伸び率（%）		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	0%
人件費	正規職員	1,637	1,637	1,638	1,560	1,513	1,672	11,940	0	0	0
	正規職員以外	1,150	1,150	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,787	2,787	1,638	1,560	1,513	1,672	11,940	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		0	0	0	0	0	0	367	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.21	0.21	0.21	0.20	0.19	0.21	1.50	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.23	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		消耗品費　52千円、印刷製本費　201千円（令和２年度）									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	計画に係る進捗状況の管理	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	庁内協議会開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	文化芸術推進基本計画に基づき、本市文化芸術の向上発展を図り、魅力あるまちづくりにつなげるためにも必要である。
見直し・改善内容	文化芸術推進基本計画の進捗状況を毎年度確認し、必要に応じて対応を協議することで、第２期和歌山市文化芸術推進基本計画の策定の指針とする。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

24485　　**将棋文化振興事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	将棋文化振興事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	将棋の普及	第３７期竜王戦七番勝負第５局和歌山対局の開催を契機に本市において将棋の普及を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		将棋大会等の開催 竜王戦和歌山対局の開催	将棋大会等の開催 王将戦和歌山対局の開催	将棋大会等の開催	将棋大会等の開催

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		0	0	13,400	9,933	1,129	8,941	1,117	0	1,117	0
伸び率（%）		0%	0%	0%	0%	△91.6%	△10%	△1.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	0	0	0	7,721	7,722	11,940	6,846	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	413	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	8,134	7,722	11,940	6,846	0	0	0
国庫支出金		0	0	6,700	3,780	542	4,467	558	0	558	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	6,700	6,153	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		0	0	0	0	587	4,474	559	0	559	0
所要人数（人）	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.99	0.97	1.50	0.86	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		委託料731千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	普及イベント開催数（令和６年度は将棋タイトル戦関連事業を含む。）	回	目標値		4	2	2	2
			実績値		4	2		
			達成度(%)	%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	普及イベント参加者数（令和６年度は将棋タイトル戦関連事業を含む。）	人	目標値		946	196	196	196
			実績値		1001	245		
			達成度(%)	%	105%	125%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	令和７年度は王将戦和歌山対局の開催に伴い、普及イベントの参加者数も多く、盛り上がりを見せた。 今後、本市将棋文化の普及を図るため、団体と協力し、将棋イベントの開催を継続していく。 令和８年度も引き続き将棋タイトル戦の誘致を図る予定。
見直し・改善内容	将棋大会等について、団体と協力し、共催として実施していく。

事務事業チェックシート

事務事業No	事業名
11276	和歌の浦アート・キューブ管理運営事業（予約システム事

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	和歌の浦アート・キューブ費		
	大事業	和歌の浦アート・キューブ事業		
	中事業	和歌の浦アート・キューブ管理運営事業（予約シス		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	和歌の浦アート・キューブ条例、同条例施行規則	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		138	120	134	133	133	133	134	0	134	0
伸び率（%）		0%	0%	△2.9%	10.8%	△0.7%	0%	0.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,637	1,637	1,638	1,560	1,513	1,672	1,672	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,637	1,637	1,638	1,560	1,513	1,672	1,672	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		138	120	134	133	133	133	134	0	134	0
所要人数（人）	正規職員	0.21	0.21	0.21	0.20	0.19	0.21	0.21	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		システム使用料101千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	施設予約システム整備	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	システムによる予約件数	%	目標値	900	900	900	900	900
			実績値	859	973	1018		
			達成度(%)	95.4%	108.1%	113.1%	%	%
	予約件数（全体）	件	目標値	3200	3200	3200	3200	3200
			実績値	2629	2921	2646		
			達成度(%)	82%	90%	83%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	すみやかなパソコンやモバイル端末からの予約を可能とし、利便性が向上する。
見直し・改善内容	利用者にとって利便性が向上するような予約システムを構築するよう努める。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

11299　**和歌の浦アート・キューブ管理運営事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	和歌の浦アート・キューブ費		
	大事業	和歌の浦アート・キューブ事業		
	中事業	和歌の浦アート・キューブ管理運営事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	和歌の浦アート・キューブ条例、同条例施行規則	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	和歌山市立和歌の浦アート・キューブを安全に利用できるように維持管理する。	和歌山市立和歌の浦アート・キューブを安全に利用するための維持管理事業

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者　公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者　公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者　公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者　株式会社大阪共立	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者　株式会社大阪共立

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		50,492	64,122	31,285	31,285	31,222	30,042	57,637	0	57,637	0
伸び率（%）		41.2%	74.6%	△38%	△51.2%	△0.2%	△4%	84.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,832	4,832	3,198	9,280	12,338	11,940	8,518	0	0	0
	正規職員以外	432	432	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5,264	5,264	3,198	9,280	12,338	11,940	8,518	0	0	0
国庫支出金		1,752	30,759	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		15,100	0	0	0	0	0	6,700	0	0	0
そ の 他		767	876	877	876	867	843	874	0	874	0
一般財源（税等）		32,873	32,487	30,408	30,409	30,355	29,199	50,063	0	56,763	0
所要人数（人）	正規職員	0.62	0.62	0.41	1.19	1.55	1.50	1.07	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.19	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		管理運営委託料48,500千円　等									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	自主事業開催数	回	目標値	18	18	18	18	18
			実績値	26	19	30		
			達成度(%)	144%	105%	166%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	施設利用者数	人	目標値	25000	25000	25000	25000	25000
			実績値	22283	25718	24737		
			達成度(%)	89.1%	102.9%	98.9%	%	%
	施設利用件数	件	目標値	3000	3000	3000	3000	3000
			実績値	2118	2731	2708		
			達成度(%)	70.6%	91.0%	90.3%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	文化活動の拠点として利用されている。
見直し・改善内容	和歌の浦の景観を生かした自主事業の実施や地域住民に親しまれる施設の充実を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　20919　　事業名　**和歌山城ホール管理運営事業（予約システム事業）**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	和歌山城ホール費		
	大事業	和歌山城ホール費		
	中事業	和歌山城ホール管理運営事業（予約システム事業）		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山城ホール条例、和歌山城ホール条例施行規則	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	和歌山城ホールの施設予約システムの運用	和歌山城ホールの施設予約システムの運用

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	和歌山城ホールの施設予約システムの運用	和歌山城ホールの施設予約システムの運用	和歌山城ホールの施設予約システムの運用	和歌山城ホールの施設予約システムの運用	和歌山城ホールの施設予約システムの運用

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		255	231	478	478	474	474	478	0	478	0
伸び率（%）		0%	0%	87.5%	106.9%	△0.8%	△0.8%	0.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,637	1,637	1,638	1,560	1,513	1,672	1,672	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,637	1,637	1,638	1,560	1,513	1,672	1,672	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		255	231	478	478	474	474	478	0	478	0
所要人数（人）	正規職員	0.21	0.21	0.21	0.20	0.19	0.21	0.21	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		システム利用料　435千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	施設予約システムの活用	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	システムによる予約件数	件	目標値	900	900	900	900	900
			実績値	1186	1640	1441		
			達成度(%)	131.7%	182.2%	160.1%	%	%
	予約件数（全体）	件	目標値	3400	3400	3400	3400	3400
			実績値	4884	6072	6387		
			達成度(%)	143.6%	178.5%	187.8%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	すみやかなパソコンやモバイル端末からの予約を可能とし、利便性が向上する。
見直し・改善内容	利用者にとって利便性が向上するような予約システムを構築するよう努める。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

17794　**埋蔵文化財発掘調査事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	1	文化財の保護

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	埋蔵文化財発掘調査事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	文化財保護法	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	埋蔵文化財包蔵地（遺跡）を適切に保護する。	埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査を実施、保護資料を作成する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。	埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。	埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。	埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。	埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		20,515	20,078	10,631	11,998	12,421	10,771	22,554	0	22,554	0
伸び率（%）		92%	98.8%	△48.2%	△40.2%	16.8%	△10.2%	81.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	18,078	17,688	17,702	13,959	13,930	15,363	15,363	0	0	0
	正規職員以外	1,659	1,659	1,669	0	0	0	0	0	0	0
	小計	19,737	19,347	19,371	13,959	13,930	15,363	15,363	0	0	0
国庫支出金		6,830	6,830	4,250	5,301	6,321	4,136	9,811	0	0	0
県支出金		342	342	212	236	316	186	490	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		9	0	0	0	15	0	15	0	0	0
一般財源（税等）		13,334	12,906	6,169	6,461	5,769	6,449	12,238	0	22,554	0
所要人数（人）	正規職員	2.32	2.27	2.27	1.79	1.75	1.93	1.93	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.86	0.86	0.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		印刷製本費　１，３６７千円　発掘調査補助事業委託料　６，６４０千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	文化財保護法に基づく届出・通知件数	件	目標値					
			実績値	310	305	361		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
	立会調査件数	件	目標値					
			実績値	50	76	43		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
成果指標	確認調査件数	件	目標値					
			実績値	38	23	32		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
	発掘調査件数	件	目標値					
			実績値	8	4	16		
			達成度(%)	%	%	%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	文化財保護法に基づき市内の埋蔵文化包蔵地（遺跡）を適切に保護するために行われる事業である。
見直し・改善内容	日常的な文化財パトロールにより、文化財保護法に基づく届出等の漏れがないように努める。

事務事業チェックシート

事務事業No　20484　　事業名　**史跡和歌山城保存修理事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	1	文化財の保護

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	和歌山城公園管理費		
	大事業	和歌山城公園管理事業		
	中事業	史跡和歌山城保存修理事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	和歌山城整備企画課	南　秀樹	435-1044
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	和歌山城の保存修理については、「史跡和歌山城保存管理計画（平成４年度策定）」「史跡和歌山城整備計画（平成２８年度改訂版）」や「史跡和歌山城二の丸及び西の丸整備基本計画（令和２年度策定）」、「史跡和歌山城樹木管理計画（令和元年度策定）」に基づいて事業計画を作成し、史跡和歌山城保存整備委員会や、国・県の助言・指導のもと進めています。	史跡和歌山城の後世への確実な継承とさらなる活用に向けて、石垣の保存修理や史跡整備を進める。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	扇の芝の整備や、老朽化の進む岡口門及び土塀の補修に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡和歌山城保存整備委員会での協議を行う。	扇の芝の整備や、老朽化の進む岡口門及び土塀の補修に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡和歌山城保存整備委員会での協議を行う。	扇の芝の整備や、老朽化の進む岡口門及び土塀の補修に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡和歌山城保存整備委員会での協議を行っています。	扇の芝の整備や、老朽化の進む岡口門及び土塀の補修に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡和歌山城保存整備委員会での協議を行っています。	扇の芝の整備や、老朽化の進む岡口門及び土塀の補修に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡和歌山城保存整備委員会での協議を行っています。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		19,102	19,945	27,923	27,296	21,478	34,995	80,536	0	80,536	0
伸び率（%）		6.5%	14%	46.2%	36.9%	△23.1%	28.2%	275%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	21,974	21,662	21,679	26,436	26,985	27,224	26,428	0	0	0
	正規職員以外	4,403	4,267	4,274	3,582	4,716	4,944	4,944	0	0	0
	小計	26,377	25,929	25,953	30,018	31,701	32,168	31,372	0	0	0
国庫支出金		9,392	9,635	13,974	13,375	10,719	12,240	44,121	0	0	0
県支出金		468	481	697	667	535	535	2,012	0	0	0
市　債		1,000	1,300	0	0	0	0	25,600	0	0	0
そ の 他		8,238	8,503	6,193	6,219	10,547	21,236	9,189	0	0	0
一般財源（税等）		4	26	7,059	7,035	△323	984	△386	0	80,536	0
所要人数（人）	正規職員	2.82	2.78	2.78	3.39	3.39	3.42	3.32	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	1.82	1.76	1.76	1.58	1.86	1.95	1.95	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		発掘調査委託料（９，７６９千円）、測量委託料（４，８３４千円）管理委託料（５，１２２千円）、設計委託料（２，９５４千円）　等									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	調査場所数	箇所	目標値	1	1	1		
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	史跡和歌山城保存整備委員会開催回数	回	目標値	2	2	2	2	
			実績値	3	3	3		
			達成度(%)	150%	150%	150%	%	%
成果指標	天守閣の入場者数	人	目標値	336,000	223,750	232,500	241,250	
			実績値	214,141	232,874	267,087		
			達成度(%)	64%	104%	115%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				○
現状維持				
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	文化財の保存に留まらず、扇の芝の整備や北辺櫓群の復元等により、和歌山城の文化的価値の更なる向上及び観光的魅力の増進を図るため、今後事業内容を充実していきたいと考えている。
見直し・改善内容	事業を充実し、来場者の増加や周辺市街地の活性化を目指したいと考えている。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

11287　　**車駕之古址古墳公園管理事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	車駕之古址古墳公園管理事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	県指定文化財（史跡）車駕之古址古墳公園の適正な維持管理を行う。	県指定文化財（史跡）車駕之古址古墳公園の適正な維持管理を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	県指定文化財（史跡）車駕之古址古墳公園内の草刈り・清掃などの維持管理事業、小学生や市民を対象とした説明会の実施、古墳の景石の移設	県指定文化財（史跡）車駕之古址古墳公園内の草刈り・清掃などの維持管理事業、小学生や市民を対象とした説明会の実施	県指定文化財（史跡）車駕之古址古墳公園内の草刈り・清掃などの維持管理事業、小学生や市民を対象とした説明会の実施	県指定文化財（史跡）車駕之古址古墳公園内の草刈り・清掃などの維持管理事業、小学生や市民を対象とした説明会の実施	県指定文化財（史跡）車駕之古址古墳公園内の草刈り・清掃などの維持管理事業、小学生や市民を対象とした説明会の実施

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		2,920	2,597	2,480	2,283	2,698	2,651	2,370	0	2,370	0
伸び率（%）		△2.7%	△12.8%	△15.1%	△12.1%	8.8%	16.1%	△12.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	6,546	6,390	6,395	6,161	6,209	6,846	6,846	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6,546	6,390	6,395	6,161	6,209	6,846	6,846	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		2,920	2,597	2,480	2,283	2,698	2,651	2,370	0	2,370	0
所要人数（人）	正規職員	0.84	0.82	0.82	0.79	0.78	0.86	0.86	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		植栽等委託料　１，９１７千円　清掃委託料　３４７千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	説明会実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	0	1	1		
			達成度(%)	%	50%	50%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	説明会参加者数	人	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	0	52	29		
			達成度(%)	%	35%	19.3%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	地元での行事で古墳の歴史を紹介する機会が定例化しつつあり、地域の活動にも役立っている。
見直し・改善内容	パンフレットの配布やホームページでの紹介を促進し、より多くの人々に存在・歴史的価値を知ってもらうように努める。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

11290　**平井歴史資料室公開事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	平井歴史資料室公開事業		

事業種別	継続	関連個別計画	平井複合館基本構想		
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令		関連課	人権同和施策課　子育て支援課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	平井地区に設置予定の平井複合館内に、発見された埴輪窯のレプリカを展示し、歴史学習の場とする。	平井地区に設置予定の平井複合館内に、発見された埴輪窯のレプリカを展示し、歴史学習の場とする。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	平井ふれあいセンター内の平井歴史資料室の維持管理及び運営を行い、歴史学習の場とする。 入室者数　１，０２６人	平井複合館設置に関係する3課（人権同和施策課・子育て支援課、文化振興課）で今後の事業費総額を関連面積割合で負担する。 入室者数　１，２０９人	平井複合館設置に関係する3課（人権同和施策課・子育て支援課、文化振興課）で今後の事業費総額を関連面積割合で負担する。 入室者数　１，１４６人	平井複合館設置に関係する3課（人権同和施策課・子育て支援課、文化振興課）で今後の事業費総額を関連面積割合で負担する。	平井複合館設置に関係する3課（人権同和施策課・子育て支援課、文化振興課）で今後の事業費総額を関連面積割合で負担する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		1,076	741	1,188	1,125	1,216	869	1,255	0	1,255	0
伸び率（%）		21.4%	△38.7%	10.4%	51.8%	2.4%	△22.8%	3.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	9,818	9,663	8,032	7,721	7,722	6,846	6,846	0	0	0
	正規職員以外	2,373	2,373	2,387	2,425	2,693	2,801	2,801	0	0	0
	小計	12,191	12,036	10,419	10,146	10,415	9,647	9,647	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		1,076	741	1,188	1,125	1,216	869	1,255	0	1,255	0
所要人数（人）	正規職員	1.26	1.24	1.03	0.99	0.97	0.86	0.86	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	1.23	1.23	1.23	1.25	1.25	1.30	1.30	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		光熱水費　３６８千円、管理委託料　２３３千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	平井複合施設建設関連事業	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成度(%)	%	%	%	%	%
	開場日数	日	目標値	299	299	299	299	299
			実績値	293	292	294		
			達成度(%)	98%	98%	98.3%	%	%
成果指標	平井複合施設建設関連事業	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
	平井歴史資料室入室者数	人	目標値	1500	1500	1500	1500	1500
			実績値	1026	1209	1146		
			達成度(%)	68.4%	80.6%	76.4%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	コスト投入の方向性			
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				

担当課評価の根拠	開館当初に比べ入室者数が減少しているが、小学生が参加できるイベント等を開催し、入室者数の増加を図っている。
見直し・改善内容	より多くの学校等の団体に歴史教育の場として利用してもらえるよう広報していく必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No　11297　　事業名　旧中筋家住宅公開事業

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	旧中筋家住宅公開事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	文化財保護法	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。 観覧者数　１，０３３人	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。 観覧者数　９２６人	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。 観覧者数　１，３９６人	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		3,040	2,879	3,081	3,196	3,171	2,940	3,091	0	3,091	0
伸び率（%）		△0.9%	△2.5%	1.3%	11%	2.9%	△8%	△2.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	8,182	8,026	8,032	7,721	7,722	8,518	8,518	0	0	0
	正規職員以外	6,095	6,095	6,116	5,825	6,484	6,736	6,736	0	0	0
	小計	14,277	14,121	14,148	13,546	14,206	15,254	15,254	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		120	71	120	127	143	98	144	0	0	0
一般財源（税等）		2,920	2,808	2,961	3,069	3,028	2,842	2,947	0	3,091	0
所要人数（人）	正規職員	1.05	1.03	1.03	0.99	0.97	1.07	1.07	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	2.99	2.99	2.99	2.84	2.84	2.95	2.95	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		土地借上料　７６８千円　管理委託料　７０６千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	開場日数	日	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	98	89	102		
			達成度(%)	108.8%	99%	113.3%	%	%
	自主事業開催数	回	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	9	8	7		
			達成度(%)	90%	80%	70%	%	%
成果指標	文化財関連施設入館者数（旧中筋家住宅）	人	目標値	1700	1700	1700	1700	1700
			実績値	1033	926	1396		
			達成度(%)	60.7%	54.4%	82.1%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	平成２２年度の公開以来、様々な自主事業を行い、観覧者数の増加を図っている。新型コロナ禍により減少した観覧者数は回復傾向にあるものの、以前の水準には達していない。
見直し・改善内容	より広範囲な広報活動（ホームページ、インターネットの活用を含めて）により周知を図り、一過性でない観覧者数の増加を目指す。また学校関係や地元自治会等との連携を強め、様々な利用方法を探る。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

11298　**文化財保護事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	文化財保護事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市文化財保護条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	市内所在の文化遺産を適切に保存整備し、継承、活用を行う。	文化財保護審議会を開催し、事業について指導を受ける。和歌山市指定文化財を指定する。文化財案内板の設置、文化財資料の貸出等を行い文化財の活用を図る。

	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
事業内容	文化財保護審議会の開催、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理	文化財保護審議会の開催、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理	文化財保護審議会の開催、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理	文化財保護審議会の開催、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理	文化財保護審議会の開催、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		64,412	56,592	76,695	70,306	183,166	179,857	115,449	0	115,449	0
伸び率（%）		△4.4%	△6.2%	19.1%	24.2%	138.8%	155.8%	△37%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	22,987	22,441	20,899	17,000	17,035	18,706	18,706	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	2,425	2,693	2,801	2,801	0	0	0
	小計	22,987	22,441	20,899	19,425	19,728	21,507	21,507	0	0	0
国庫支出金		180	1,000	3,158	3,157	63,268	62,357	25,917	0	0	0
県支出金		9	9	495	476	20,701	20,688	769	0	0	0
市　債		0	0	0	0	24,500	24,000	6,800	0	0	0
そ の 他		21	21	21	121	21	21	21	0	0	0
一般財源（税等）		64,202	55,562	73,021	66,552	74,676	72,791	81,942	0	115,449	0
所要人数（人）	正規職員	2.95	2.88	2.68	2.18	2.14	2.35	2.35	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	1.25	1.25	1.30	1.30	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		樹木等処分委託料　１，８９９千円　文化財保護事業委託料　５７，１３６千円　市指定文化財修理修復事業補助金　１，０７８千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	審議会開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	指定文化財維持補修件数	件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	11	9	4		
			達成度(%)	550%	450%	200%	%	%
成果指標	指定文化財件数及び登録文化財累計件数	件	目標値	285	289	293	297	301
			実績値	312	311	314		
			達成度(%)	109.4%	107.6%	107.1%	%	%
	資料貸出件数	件	目標値					
			実績値	20	14	18		
			達成度(%)	%	%	%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	市内の文化遺産の保存・活用を適切に行い、周知向上に努め、本市の歴史を後世に伝えていく事業である。
見直し・改善内容	市指定文化財について、各分野の候補を文化財保護委員の指導を受け、計画的に指定していくこととした。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12236　**博物館施設維持管理事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	博物館施設維持管理事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	冨永　里菜	423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	博物館の運営・維持管理を円滑に行う。	博物館法に基づき、博物館の運営・維持管理を行う事業。賑わい創出のため、リニューアル等の取組を実施する必要がある。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		39,269	35,102	36,430	36,806	75,315	75,121	38,201	0	38,201	0
伸び率（%）		29.3%	3.6%	△7.2%	4.9%	106.7%	104.1%	△49.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,948	7,948	6,473	10,138	11,463	10,269	9,154	0	0	0
	正規職員以外	4,447	4,447	4,489	3,050	4,382	4,695	3,523	0	0	0
	小計	12,395	12,395	10,962	13,188	15,845	14,964	12,677	0	0	0
国庫支出金		0	1,090	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	35,100	34,900	0	0	0	0
そ の 他		1,798	1,701	2,407	1,641	2,624	2,474	3,879	0	0	0
一般財源（税等）		37,471	32,311	34,023	35,165	37,591	37,747	34,322	0	38,201	0
所要人数（人）	正規職員	1.02	1.02	0.83	1.30	1.44	1.29	1.15	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	1.81	1.81	1.81	1.54	1.78	1.85	1.60	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		機械修繕料39,050千円　管理委託料21,964千円　光熱水費9,472千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	施設の修繕箇所数	箇所	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	7	4	2		
			達成度(%)	175%	100%	50%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	入館者数	人	目標値	18000	18000	13000	16000	21000
			実績値	10589	11210	15675		
			達成度(%)	58.8%	62.3%	120.6%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実			○	
現状維持				
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	博物館の施設及び設備について、老朽化による劣化が進んでいる。計画的に対処していく。 また、歴史・文化を継承するとともに、親しまれる博物館にするため、また賑わい増加を図るための取組を行っていく。
見直し・改善内容	老朽化対策と魅力的な博物館づくりを目的として、リニューアルの方向性や内容を検討していく必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12237　　**市史資料管理事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	市史資料管理事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	冨永　里菜	423-0003
事業実施の根拠法令	和歌山市立博物館条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	市史資料の管理及び利用	和歌山市史編纂事業の完了に伴い、博物館に保管を移された関係資料の管理及び利用に関する事業

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	市史関係資料及び市史著作権を管理し、毎年その成果を市史研究に掲載し発行する。	市史関係資料及び市史著作権を管理し、毎年その成果を市史研究に掲載し発行する。	市史関係資料及び市史著作権を管理し、毎年その成果を市史研究に掲載し発行する。	市史関係資料及び市史著作権を管理し、毎年その成果を市史研究に掲載する。	市史関係資料及び市史著作権を管理し、毎年その成果を市史研究に掲載する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		194	202	210	205	212	210	12	0	0	0
伸び率（%）		△14.5%	3.1%	8.2%	1.5%	1%	2.4%	△94.3%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	2,026	2,026	1,638	1,248	1,354	1,513	1,831	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	207	248	0	0	0	0
	小計	2,026	2,026	1,638	1,248	1,561	1,761	1,831	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		46	0	46	4	46	4	0	0	0	0
一般財源（税等）		148	202	164	201	166	206	12	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.26	0.26	0.21	0.16	0.17	0.19	0.23	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		印刷製本費200千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	市史研究年間発刊回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	県内外寄贈公開機関数	ヶ所	目標値	150	120	120	120	120
			実績値	111	110	84		
			達成度(%)	74%	91.7%	70%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	市史資料管理事業は、市史編纂事業関係の資料分析・公表や、和歌山市が刊行した『和歌山市史』の著作権の管理を行う事業であり、継続する必要がある。
見直し・改善内容	市町村合併関係資料や旧町村役場文書、戦争関係資料、国体などの各イベント関係資料など多大な資料について調査・研究し、保管・管理を検討していく必要がある。市史研究については、事業効率化のため、令和8年度からオンラインでの公開に切り替える。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12238　**展示資料充実事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	展示資料充実事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	冨永　里菜	423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	和歌山市に関する貴重な資料を購入するとともに、郷土資料の寄贈・収集により、資料の充実を図る。	展示の役に立てるため、資料の購入・寄贈受入等により、博物館資料の充実を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	郷土資料の寄贈受入や収集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈受入や収集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈受入や収集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈受入や収集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈受入や収集により、資料の充実を図る。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伸び率（%）		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	2,026	2,026	1,638	1,248	1,354	1,513	1,831	0	0	0
	正規職員以外	0	500	510	0	207	248	0	0	0	0
	小計	2,026	2,526	2,148	1,248	1,561	1,761	1,831	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.26	0.26	0.21	0.16	0.17	0.19	0.23	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.10	0.10	0.00	0.05	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		0円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	資料購入評価委員会の年間開催数	回	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	購入資料件数	件	目標値	0	0	0	12	0
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
	寄贈件数	件	目標値	10	15	15	15	15
			実績値	17	10	13		
			達成度(%)	170%	66%	87%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	和歌山の歴史・文化に係る調査研究に必要な資料の収集を継続しており、館蔵資料の充実を進めることにより、より充実した展覧会の開催ができると考える。
見直し・改善内容	コレクターが収集した資料が、代替わり等により手放されるケースが増えている。本市にとって残すべき資料について、精査の上、保管に努めていく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12239　**常設展示室整備事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	常設展示室整備事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	冨永　里菜	423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	常設展示の計画的な展示替えを行うとともにコーナー展示を行い多くの館臓品を市民に公開する。	常設展示室の展示替えを適時行い、新しい資料を公開する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	年20回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年20回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年間を通して随時の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年間を通して随時の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年間を通して随時の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、グッズの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		250	250	10	8	10	10	10	0	0	0
伸び率（%）		93.8%	93.8%	△96%	△96.8%	0%	25%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	2,026	2,026	1,638	1,638	1,831	2,070	2,468	0	0	0
	正規職員以外	500	500	510	0	207	248	0	0	0	0
	小計	2,526	2,526	2,148	1,638	2,038	2,318	2,468	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		250	250	10	8	10	10	10	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.26	0.26	0.21	0.21	0.23	0.26	0.31	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10	0.00	0.05	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		消耗品費10千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	コーナー展示と常設展示の展示入替の回数	回	目標値	18	20	30	30	35
			実績値	24	36	26		
			達成度(%)	133%	130%	66%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	常設展の入館者数	人	目標値	4000	3500	2000	4000	4500
			実績値	2942	1436	3082		
			達成度(%)	73.6%	41.0%	154.1%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				

コスト投入の方向性

担当課評価の根拠	常設展示室では、テーマを設定して定期的に資料を入れ替えるコーナー展示など、展示にメリハリをつけている。コーナー展示以外にも常設展示資料の入れ替えを積極的に行うなど入館者数の増加に努めている。また、缶マグネットの製作やぬり絵の配布で、より多くの市民に関心を持ってもらえるよう取り組んでいる。 特別展示室の稼働率を高めた結果、常設展のみの開館日数が減少するが、各種広報努力や入館増のための取組みを通じて、入館者数は増加した。
見直し・改善内容	今後も常設展示室内の展示内容の更新を積極的に実施し、新たなイベントを開催するなど様々な方法でリピーターを獲得し、入館者数の増加につなげていく必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12241　**調査研究事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	調査研究事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	冨永　里菜	423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	将来の特別展に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う。	将来の特別展に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う事業であり、博物館活動の根底を支える基本的な事業。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	将来の特別展・企画展（春・夏・秋）に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う。調査成果は、展覧会に反映するとともに特別展図録や研究紀要で随時公表する。	将来の特別展・企画展（春・夏・秋）に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う。調査成果は、展覧会に反映するとともに特別展図録や研究紀要で随時公表する。	将来の特別展・企画展に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う。調査成果は、展覧会に反映するとともに特別展図録や研究紀要で随時公表する。	将来の特別展・企画展に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う。調査成果は、展覧会に反映するとともに特別展図録や研究紀要で随時公表する。	将来の特別展・企画展に関する資料の調査や和歌山と関連の深い文化財の研究を行う。調査成果は、展覧会に反映するとともに特別展図録や研究紀要で随時公表する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		731	659	731	608	824	764	852	0	0	0
伸び率（%）		20.6%	12.5%	0%	△7.7%	12.7%	25.7%	3.4%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	3,974	3,974	3,276	4,055	4,617	5,174	6,130	0	0	0
	正規職員以外	500	500	510	0	579	538	0	0	0	0
	小計	4,474	4,474	3,786	4,055	5,196	5,712	6,130	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		220	70	240	64	240	81	259	0	0	0
一般財源（税等）		511	589	491	544	584	683	593	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.51	0.51	0.42	0.52	0.58	0.65	0.77	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10	0.00	0.14	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		印刷製本費819千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	研究紀要掲載論文本数	本	目標値	7	7	7	7	7
			実績値	8	6	8		
			達成度(%)	114.3%	85.7%	114.3%	%	%
	調査資料件数	件	目標値	400	400	400	400	400
			実績値	424	412	356		
			達成度(%)	106%	103%	89%	%	%
成果指標	出陳資料件数	件	目標値	400	400	400	380	380
			実績値	424	412	346		
			達成度(%)	106%	103%	86.5%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	調査研究事業は、和歌山市の歴史を解明する基礎的な事業で、将来の特別展の準備作業であるとともに、和歌山市の歴史の記録を解明し、将来に伝える重要な事業であるため、継続する必要がある。
見直し・改善内容	調査研究は、和歌山市の歴史の解明や特別展等を行う際の基礎となる重要な事業である。現在の環境の中で継続する必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12242　**企画展開催事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	企画展開催事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	冨永　里菜	423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	館蔵資料を広く市民に紹介し、和歌山市の歴史・文化の魅力を伝える。	館蔵資料を広く市民に紹介し、和歌山市の歴史・文化の魅力を伝えるため、年に４～５回企画展を開催する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	春・夏・秋は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬は小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。	春・夏・秋は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬は小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。	春・夏・秋は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬は小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。	春～秋に館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬は小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。	春～秋に館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬は小学生の社会科の授業に合わせた展覧会を開催する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		398	397	1,171	1,020	0	0	1,770	0	0	0
伸び率（%）		2.8%	4.2%	194.2%	156.9%	△100%	△100%	0%	0%	△100%	0%
人件費	正規職員	7,948	7,948	6,473	8,110	9,154	12,816	18,308	0	0	0
	正規職員以外	942	942	954	444	1,280	1,527	515	0	0	0
	小計	8,890	8,890	7,427	8,554	10,434	14,343	18,823	0	0	0
国庫支出金		142	197	585	509	0	0	713	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		113	186	113	272	0	0	304	0	0	0
一般財源（税等）		143	14	473	239	0	0	753	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	1.02	1.02	0.83	1.04	1.15	1.61	2.30	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.32	0.32	0.32	0.22	0.41	0.47	0.23	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		0円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	企画展開館日数	日	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	133	181	164		
			達成度(%)	88.7%	120.7%	109.3%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	企画展入館者数	人	目標値	4800	6000	6000	8500	12000
			実績値	5993	7620	10333		
			達成度(%)	124.9%	127%	172.2%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	本事業は、収蔵資料を元に開催する事業である。企画展の開催回数を多くし、展示室の稼働率を高め、集客に効果が出ている。 また、小学校の社会科の単元に対応した教育プログラムを実施し、小学校の団体を学芸員が案内して学習効果を高めている。例年、市内の小学校の大半が授業で来館するなど、学校教育との連携がとれている。
見直し・改善内容	より多くの人に収蔵資料を見て和歌山の歴史・文化を知ってもらうために、興味を持たれそうなテーマや内容を考慮していく。また、現在の環境でより学習効果が高くなるよう、案内方法の工夫などを検討する。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

12243　**特別展開催事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	特別展開催事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	冨永　里菜	423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	市民等の和歌山の歴史・文化に対する意識の向上を図ることを目的として展覧会を実施し、入館者増加へつなげる。	地域に密着したテーマや和歌山に関連するテーマを年度ごとに選び、展覧会を開催することにより、市民等の和歌山の歴史・文化に対する意識の向上を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	葛城修験に関する展覧会を開催する。	万葉１３００年関連事業として、和歌の浦に関する展覧会を開催する。	徳川治宝ゆかりの絵画や近世の画家に焦点を当てた展覧会を開催する。	和歌山城下に生まれた女流画家であり、本市の「偉人・先人」としても顕彰している川合小梅に焦点を当てた展覧会を開催する。	地域に密着したテーマや和歌山に関連するテーマを選び、展覧会を開催する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		4,627	4,246	5,202	5,782	5,252	5,140	4,702	0	0	0
伸び率（%）		22.2%	36.4%	12.4%	36.2%	1%	△11.1%	△10.5%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	6,000	6,000	4,835	6,083	6,846	7,722	9,154	0	0	0
	正規職員以外	942	942	954	444	1,073	1,280	515	0	0	0
	小計	6,942	6,942	5,789	6,527	7,919	9,002	9,669	0	0	0
国庫支出金		1,697	2,101	2,591	2,390	1,932	2,575	1,553	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		1,210	1,268	1,300	1,488	1,360	597	1,474	0	0	0
一般財源（税等）		1,720	877	1,311	1,904	1,960	1,968	1,675	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.77	0.77	0.62	0.78	0.86	0.97	1.15	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.32	0.32	0.32	0.22	0.36	0.41	0.23	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		消耗品費87千円　印刷製本費2,334千円　展示その他委託料2,670千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	特別展開館日数	日	目標値	32	32	32	32	32
			実績値	37	44	38		
			達成度(%)	115.6%	137.5%	118.8%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	特別展入館者数	人	目標値	2500	2500	2500	3500	4500
			実績値	1654	2154	2260		
			達成度(%)	66.2%	86.2%	90.4%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	和歌山の歴史に関する資料を県内外からも集めて、日頃見ることができない資料を展示する事業で、市民文化の向上に資する。
見直し・改善内容	現在の環境で最大限、市民のニーズを反映した展覧会の開催を検討していく必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

13002　**湊御殿管理運営事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	湊御殿管理運営事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	増田　博	435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市文化財保護条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	市指定文化財（建造物）湊御殿を適切に維持管理する。	市指定文化財（建造物）湊御殿を適切に維持管理する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。観覧者数　３，８８７人	建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。観覧者数　３，６３４人	建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。観覧者数　３，９９３人	建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。	建物および庭園の維持管理、付属トイレの維持管理。観覧料及び施設使用料の徴収。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		10,264	10,784	10,143	9,853	10,938	10,266	11,038	0	11,038	0
伸び率（%）		7.5%	13.1%	△1.2%	△8.6%	7.8%	4.2%	0.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	6,468	6,390	6,395	12,399	12,338	11,940	11,940	0	0	0
	正規職員以外	13,409	13,409	13,714	3,648	4,050	4,201	4,201	0	0	0
	小計	19,877	19,799	20,109	16,047	16,388	16,141	16,141	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		75	2	75	1	75	42	75	0	0	0
一般財源（税等）		10,189	10,782	10,068	9,852	10,863	10,224	10,963	0	11,038	0
所要人数（人）	正規職員	0.83	0.82	0.82	1.59	1.55	1.50	1.50	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	3.93	3.93	3.95	1.88	1.88	1.95	1.95	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		使用料及び賃借料（土地借上料）　５，５５０千円　植栽等委託料　２，３９８千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	開場日数	日	目標値	366	365	365	365	366
			実績値	365	364	365		
			達成度(%)	99.7%	99.7%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	観覧者数	人	目標値	9000	9000	9000	9000	9000
			実績値	3887	3634	3993		
			達成度(%)	43.1%	40.3%	44.3%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				

コスト投入の方向性

担当課評価の根拠	年開場しているにもかかわらず、観覧者数が減少傾向となっているため、多くの人に来ていただける仕組み作りが必要となっている。新型コロナ禍により減少していた観覧者数は、団体客の茶室使用等もあり徐々に回復してきている。
見直し・改善内容	平成２４年４月１日から観覧料を半額（一般１００円）にするとともに、養翠園・和歌山城・旧中筋家住宅・市立博物館に１週間以内に入場した者は湊御殿観覧料を無料にし、観覧者数の増加を図っている。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

10739　　**スポーツ教室開催促進事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ振興費		
	大事業	スポーツ振興事業		
	中事業	スポーツ教室開催促進事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	片山　顕彦	435-1364
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	地域間、住民間の親睦・交流を深めながら、スポーツの振興を図るため、各地域に即したスポーツ教室や、スポーツ大会を開催する。	地域ふれあいスポーツ振興事業 地域間の交流を深めつつ、スポーツを振興するために、地域の状況に即したスポーツ教室・大会を開催する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	地域間、住民間の交流を深めるため、各地域に即したスポーツ教室や、スポーツ大会を開催するにあたり、委託料を支出し、各地区に業務を委託する。	地域間、住民間の交流を深めるため、各地域に即したスポーツ教室や、スポーツ大会を開催するにあたり、委託料を支出し、各地区に業務を委託する。	地域間、住民間の交流を深めるため、各地域に即したスポーツ教室や、スポーツ大会を開催するにあたり、委託料を支出し、各地区に業務を委託する。	地域間、住民間の交流を深めるため、各地域に即したスポーツ教室や、スポーツ大会を開催するにあたり、委託料を支出し、各地区に業務を委託する。	地域間、住民間の交流を深めるため、各地域に即したスポーツ教室や、スポーツ大会を開催するにあたり、委託料を支出し、各地区に業務を委託する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		75	75	75	75	75	75	75	0	0	0
伸び率（%）		△37.5%	41.5%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	936	1,013	858	1,014	956	1,035	1,035	0	0	0
	正規職員以外	227	227	227	137	153	153	153	0	0	0
	小計	1,163	1,240	1,085	1,151	1,109	1,188	1,188	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		75	75	75	75	75	75	75	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.12	0.13	0.11	0.13	0.12	0.13	0.13	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10	0.06	0.06	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		地域ふれあいスポーツ振興事業運営委託料　75千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	地域ふれあいスポーツ振興事業委託件数	件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	参加者数	人	目標値	680	680	680	680	680
			実績値	522	380	341		
			達成度(%)	76.76%	55.88%	50.14%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	その地域のニーズに合ったスポーツ教室や、スポーツ大会を開催することで、子どもからお年寄りまで幅広い年齢の人たちが、スポーツを通じて、健康維持を図ることや、教室、大会に参加することで地域のコミュニティーを築くことができる。また、スポーツの振興、発展にも貢献できている。
見直し・改善内容	各地域が主催するスポーツ大会を通じ、地域住民間の交流やスポーツ振興に一定の貢献はあるが、今後は、開催内容について検討していく必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No　10743　　事業名　**スポーツ推進委員との連携事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ振興費		
	大事業	スポーツ振興事業		
	中事業	スポーツ推進委員との連携事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	片山　顕彦	435-1364
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	市事業への協力及び各地区でスポーツの振興を進めているスポーツ推進委員と連携を深め、スポーツ人口の増加を図る。	和歌山市の事業への協力及び各地区でのスポーツの振興を進めているスポーツ推進委員との連携強化に努めるとともに、スポーツ人口の増加、振興を図ります。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	スポーツ推進委員に対する推進委員報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。	スポーツ推進委員に対する推進委員報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。	スポーツ推進委員に対する推進委員報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。	スポーツ推進委員に対する推進委員報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。	スポーツ推進委員に対する推進委員報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		1,472	1,471	1,538	1,508	1,520	1,520	1,573	0	0	0
伸び率（%）		4.2%	△0.1%	4.5%	2.5%	△1.2%	0.8%	3.5%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	7,559	8,104	4,913	1,950	1,831	2,070	8,279	0	0	0
	正規職員以外	0	0	1,089	1,111	1,116	1,217	0	0	0	0
	小計	7,559	8,104	6,002	3,061	2,947	3,287	8,279	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		1,472	1,471	1,538	1,508	1,520	1,520	1,573	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.97	1.04	0.63	0.25	0.23	0.26	1.04	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.48	0.49	0.44	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		推進委員報酬　770千円、消耗品費　578千円、ふれあい健康スポーツ事業交付金　172千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	各種イベント参加者数	人	目標値	2500	2500	2500	2500	2500
			実績値	2175	2169	2305		
			達成度(%)	87.00%	86.68%	92.2%	%	%
	スポーツ推進委員委嘱者数	人	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	80	77	77		
			達成度(%)	100%	96.25%	96.25%	%	%
成果指標	成人の週１回以上の運動習慣率	%	目標値	63.2	65.5	68.8	70.0	70.0
			実績値	61.4	58.5	64.8		
			達成度(%)	97.15%	89.31%	94.19%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	スポーツ推進委員は、市の事業への協力や、各地区でのスポーツの振興、推進を進めており、連携強化を更に図り、市民のスポーツに接する機会を与えることで、スポーツ人口の増加や、スポーツを通して親睦や交流を図る。
見直し・改善内容	スポーツ教室等を通じ、運動習慣の定着を促すなど、今後も、市民の健康維持増進や体力の向上に努める。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

10745　　**各種競技団体との連携事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ振興費		
	大事業	スポーツ振興事業		
	中事業	各種競技団体との連携事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	片山　顕彦	435-1364
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	和歌山市スポーツ協会などの様々な競技団体と連携を密にすることで、市民がスポーツに接する機会を与え、スポーツ人口の増加を図る。	和歌山市スポーツ協会などの競技団体と連携を行うことで、市民のスポーツに接する機会を増加させ、スポーツ人口の増加を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	生涯スポーツ推進育成、ジュニアスポーツ教室開催、ふれあい健康スポーツ事業、スポーツキャンプサポート事業	生涯スポーツ推進育成、ジュニアスポーツ教室開催、ふれあい健康スポーツ事業、スポーツキャンプサポート事業	生涯スポーツ推進育成、ジュニアスポーツ教室開催、ふれあい健康スポーツ事業、スポーツキャンプサポート事業、ワールドマスターズゲームズ開催準備	生涯スポーツ推進育成、ジュニアスポーツ教室開催、ふれあい健康スポーツ事業、スポーツキャンプサポート事業、ワールドマスターズゲームズ開催準備	生涯スポーツ推進育成、ジュニアスポーツ教室開催、ふれあい健康スポーツ事業、スポーツキャンプサポート事業、ワールドマスターズゲームズ開催準備（５月開催）

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		2,017	1,982	2,041	1,966	2,049	1,977	2,013	0	0	0
伸び率（%）		0.7%	1.5%	1.2%	△0.8%	0.4%	0.6%	△1.8%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	16,130	17,221	11,542	9,904	13,771	15,522	20,696	0	0	0
	正規職員以外	0	0	1,089	1,111	1,116	1,217	0	0	0	0
	小計	16,130	17,221	12,631	11,015	14,887	16,739	20,696	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		2,017	1,982	2,041	1,966	2,049	1,977	2,013	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	2.07	2.21	1.48	1.27	1.73	1.95	2.60	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.48	0.49	0.44	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		ジュニアスポーツ教室開催委託料　1,351千円、生涯スポーツ推進育成補助金　499千円、ふれあい健康スポーツ事業交付金　184千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	教室・各種大会実施件数	件	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	19	18	18		
			達成度(%)	95%	90%	90%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	教室・大会参加者数	人	目標値	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
			実績値	1,945	1,855	1,702		
			達成度(%)	60.78%	61.83%	53.18%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				

コスト投入の方向性

担当課評価の根拠	様々な競技団体と連携を図り、市民のための生涯スポーツ交流大会や、障害者と健常者が共に参加して行う障害者卓球大会などを開催するとともに、プロスポーツチーム等と連携したスポーツ教室の開催など、市民がスポーツに接する機会を与え、人と人との繋がりや交流を大切にすることや、トップアスリートを間近で観ることにより、スポーツ振興や推進に寄与している。また、障害者スポーツ教室を開催し、障害者の方にも身近にスポーツに触れる機会を提供する。
見直し・改善内容	今後も、競技団体との連携強化を図り、ジュニアスポーツ教室の開催、マリンスポーツの推進や市スポーツ協会主催の生涯スポーツ交流大会など、各種スポーツ大会等を実施していく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

10746　　**学校体育施設開放事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	保健体育費		
	目	体育振興費		
	大事業	体育振興事業		
	中事業	学校体育施設開放事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画	
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課　末吉　栄作	435-1138
事業実施の根拠法令		関連課		

1　事業内容

（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
小・中・義務教育学校体育施設（グラウンド・体育館）を、野球・ソフトボール・サッカー等の使用目的のある生徒、その他の一般市民に貸し出すことで、スポーツの振興に寄与し、市民の健康保持増進と、スポーツ人口の増加を図る。	ナイター設備の管理に係る光熱水費、修繕費の支出や、学校体育施設開放に要する費用を支出しています。

令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
学校体育施設（体育館）の開放 学校体育施設（夜間照明施設）の開放	学校体育施設（体育館）の開放 学校体育施設（夜間照明施設）の開放	学校体育施設（体育館）の開放 学校体育施設（夜間照明施設）の開放	学校体育施設（体育館）の開放 学校体育施設（夜間照明施設）の開放	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		7,175	5,200	6,746	62,555	93,844	79,967	109,622	0	0	0
伸び率（%）		10.2%	△24.3%	△6%	1,103%	1,291.1%	27.8%	16.8%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	4,909	3,896	6,941	8,344	7,244	7,801	7,164	0	0	0
	正規職員以外	0	0	862	658	964	1,014	761	0	0	0
	小計	4,909	3,896	7,803	9,002	8,208	8,815	7,925	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　　債		0	0	0	36,500	78,500	42,400	93,900	0	0	0
そ の 他		4,310	3,362	4,310	19,027	3,234	2,894	9,787	0	0	0
一般財源（税等）		2,865	1,838	2,436	7,028	12,110	34,673	5,935	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.63	0.50	0.89	1.07	0.91	0.98	0.90	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.38	0.29	0.38	0.40	0.30	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		工事請負費　87,307千円、光熱水費　3,720千円、消耗品費　902千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	開放学校数	校	目標値	68	68	68	68	
			実績値	68	68	68		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	学校体育施設（体育館）の利用団体数	団体	目標値	570	570	570	570	
			実績値	554	573	587		
			達成度(%)	97.2%	100.5%	102.9%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	ナイター設備のある中学校のグラウンドを、野球、ソフトボール、サッカーなど、一般市民に貸し出すことで、スポーツに接する機会を与え、スポーツ振興に寄与し、スポーツ人口の増加に繋がっています。また、小・中・義務教育学校の体育館を学校教育に支障のない範囲で、市民に貸し出すことで、スポーツの推進に貢献している。
見直し・改善内容	地域住民のスポーツ活動の場として、事業を継続しながら、コスト縮減についても検討していく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

10819　　**体育施設予約システム整備・運用事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ振興費		
	大事業	スポーツ振興事業		
	中事業	体育施設予約システム整備・運用事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市行財政改革大綱		
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	片山　顕彦	435-1364
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	市民サービスの向上と施設の稼働率向上を図る。	体育施設予約システムを運用することで、市民サービスの向上並びに施設の稼働率アップを図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	体育予約システムの整備・運用に係るインターネット費用等の経費を支出する。	体育予約システムの整備・運用に係るインターネット費用等の経費を支出する。	体育予約システムの整備・運用に係るインターネット費用等の経費を支出する。	体育予約システムの整備・運用に係るインターネット費用等の経費を支出する。	体育予約システムの整備・運用に係るインターネット費用等の経費を支出する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		760	759	780	780	742	752	750	0	0	0
伸び率（%）		0%	0%	2.6%	2.8%	△4.9%	△3.6%	1.1%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	936	1,013	858	1,014	956	1,035	1,035	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	936	1,013	858	1,014	956	1,035	1,035	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		760	759	780	780	742	752	750	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.12	0.13	0.11	0.13	0.12	0.13	0.13	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		システム使用料　553千円、通信運搬費　189千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	システム予約対象施設数	箇所	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	5	5		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	システムの予約割合（システム予約件数／全体の予約件数）	%	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	25.7	29.6	32.5		
			達成度(%)	51.4%	59.2%	65.0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	市民が気軽にパソコンやモバイル端末から予約することで、現場に行かなくても予約ができるため、利便性の向上が図れる。市民がスポーツに親しみ、余暇活動の場として、スポーツ施設を利用することでスポーツ振興に寄与する。
見直し・改善内容	今後も、市民の方が予約システムを活用し、スポーツ施設を気軽に利用できるように改善を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

11134　　**つつじが丘総合公園管理運営事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	つつじが丘総合公園費		
	大事業	つつじが丘総合公園事業		
	中事業	つつじが丘総合公園管理運営事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市スポーツ推進計画		
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	片山　顕彦	435-1364
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	利用者サービスの向上、利用率の向上を図る。	市立つつじが丘総合公園の管理運営業務を、指定管理者が自ら創意工夫を活かし、利用者サービスの向上や利用率の向上を図る。 また、利用料金制を採用することで、利用料金収入は指定管理者の収入となり、民間企業のノウハウを最大限に活かし、利用率の向上に努める。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	指定管理者に対し、管理運営に係る経費の一部を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費の一部を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費の一部を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費の一部を支出する。また、施設の維持、強化に要する費用を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費の一部を支出する。また、施設の維持、強化に要する費用を支出する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		58,216	55,145	51,978	50,175	53,416	49,184	56,232	0	0	0
伸び率（%）		27.2%	5.8%	△10.7%	△9%	2.8%	△2%	5.3%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	3,819	4,052	2,496	5,927	5,493	6,209	6,209	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,819	4,052	2,496	5,927	5,493	6,209	6,209	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		5,400	3,300	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		893	764	727	812	718	763	771	0	0	0
一般財源（税等）		51,923	51,081	51,251	49,363	52,698	48,421	55,461	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.49	0.52	0.32	0.76	0.69	0.78	0.78	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		管理運営委託料　51,718千円　所々修繕料　1,477千円　火災保険料　197千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	テニスコート数	箇所	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	総合公園数	箇所	目標値	0	1	1	1	1
			実績値	0	1	1		
			達成度(%)	0%	100%	100%	%	%
成果指標	利用件数	件	目標値	15,000	16,125	18,000	20,000	21,250
			実績値	16,012	17,510	32,646		
			達成度(%)	106.74%	103.62%	181.36%	%	%
	利用者数	人	目標値	60,2000	64,500	80,000	90,000	96,000
			実績値	62,798	91,050	116,279		
			達成度(%)	104.66%	141.12%	145.34%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	テニスコートは平成２６年７月にオープン以来、土曜日、日曜日は、大会等で使用されている。今後も、高校生・大学生の合宿や大会等の誘致で、より多くの人たちが使用することで、テニス競技の普及やスポーツの振興を図っていく。 また、総合公園としてにぎわい創出の拠点として、スポーツを楽しむ機会づくりをより一層整えていく必要がある。
見直し・改善内容	テニスコートについて、土曜日、日曜日の使用と違い、平日は、主婦層や、クラブ活動の使用に限られることから、指定管理者によるスポーツ教室の開催など、稼働率の向上のための方策を検討する必要がある。 また、総合公園としてにぎわい創出を目指すとともに、施設の改修を検討していく必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

14090　**体育館管理運営事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ施設費		
	大事業	スポーツ施設事業		
	中事業	体育館管理運営事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画	
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課　片山　顕彦	435-1364
事業実施の根拠法令		関連課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	利用者サービスの向上、スポーツの振興、地域福祉の増進を図ることを目的とする。	市立体育館（松下体育館・市民体育館・河南総合体育館）の管理運営業務を、指定管理者が自らの創意工夫を活かし、利用者サービスの向上や、スポーツの振興、地域福祉の増進を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕並びに設備強化に要する費用を支出する。	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕並びに設備強化に要する費用を支出する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		97,224	100,161	101,988	112,425	105,422	149,850	136,899	0	0	0
伸び率（%）		10%	9.9%	4.9%	12.2%	3.4%	33.3%	29.9%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	3,819	4,052	3,276	5,927	5,493	6,209	10,348	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	102	102	0	0	0	0
	小計	3,819	4,052	3,276	5,927	5,595	6,311	10,348	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	13,471	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	9,600	7,100	18,900	7,600	31,500	37,500	0	0	0
そ の 他		23,242	22,611	23,039	23,642	23,832	29,384	25,383	0	0	0
一般財源（税等）		73,982	67,950	71,849	69,883	73,990	75,495	74,016	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.49	0.52	0.42	0.76	0.69	0.78	1.30	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		管理運営委託料　91,250千円、整備工事請負費　8,470千円、所々修繕料　1,252千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	体育館数	館	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	利用件数（アリーナ）	件	目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	4,800
			実績値	4,314	4,069	3,884		
			達成度(%)	179.75%	169.54%	161.83%	%	%
	利用人数（アリーナ）	人	目標値	193,042	193,042	193,042	193,042	120,000
			実績値	102,309	101,139	99,672		
			達成度(%)	52.99%	52.39%	51.63%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	体育館（松下体育館・市民体育館・河南総合体育館）は、（公財）和歌山市文化スポーツ振興財団が、指定管理者として管理運営を行っている。当財団は、平成１８年度から市立体育館の指定管理を行っており、使用者が安全・安心に施設を使用できることを第一に考え、市民スポーツの振興、スポーツの余暇活動の場として最良の状態で提供できるように努めてきたが、令和９年度から新たな指定管理者による運営となり、円滑な事業継続を進めている。
見直し・改善内容	体育館（松下体育館・市民体育館・河南総合体育館）は、建設から４０年以上経過しており、大規模改修のほか、LED化、空調等の設備強化にかかる費用が増加すると見込まれるため、設備機器の保守の実施や、設備強化の検討など、適正な維持管理を行うための施策が必要である。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

14108　**市民スポーツ広場管理運営事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ施設費		
	大事業	スポーツ施設事業		
	中事業	市民スポーツ広場管理運営事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画	
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課　片山　顕彦	435-1364
事業実施の根拠法令		関連課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	利用者サービスの向上、スポーツの振興、地域福祉の増進を図ることを目的とする。	市民スポーツ広場の管理運営業務を、指定管理者が自らの創意工夫を活かし、利用者サービスの向上や、スポーツの振興、地域福祉の増進を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕並びに設備強化に要する費用を支出する。	市民スポーツ広場の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、市民スポーツ広場に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕並びに設備強化に要する費用を支出する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		16,408	16,406	16,535	16,035	64,839	36,336	22,343	0	0	0
伸び率（%）		0.1%	0.4%	0.8%	△2.3%	292.1%	126.6%	△65.5%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	936	1,013	2,496	5,927	14,647	16,557	5,174	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	51	51	51	0	0	0
	小計	936	1,013	2,496	5,927	14,698	16,608	5,225	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	23,499	9,794	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	21,100	8,800	0	0	0	0
そ の 他		2,423	2,177	2,373	2,208	2,267	2,334	2,465	0	0	0
一般財源（税等）		13,985	14,229	14,162	13,827	17,973	15,408	19,878	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.12	0.13	0.32	0.76	1.84	2.08	0.65	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		整備工事請負費　19,589千円、管理運営委託料　16,507千円、所々修繕料　595千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	スポーツ広場数	箇所	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	利用件数	件	目標値	3,200	3,200	3,250	2,200	2,200
			実績値	1,821	1,765	1,729		
			達成度(%)	56.90%	55.16%	53.20%	%	%
	利用人数	人	目標値	84,293	84,293	85,000	88,000	88,000
			実績値	54,656	66,258	87,534		
			達成度(%)	64.84%	78.60%	102.98%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	コスト投入の方向性			
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				○
現状維持				
縮小				
廃止				

担当課評価の根拠	市民スポーツ広場は、（公財）和歌山市文化スポーツ振興財団が、指定管理者として管理運営を行っている。当財団は、平成１８年度から市民スポーツ広場の指定管理を行っており、使用者が安全・安心に施設を使用できることを第一に考え市民スポーツの振興、スポーツの余暇活動の場として最良の状態で提供できるように努めてきたが、令和９年度から新たな指定管理者による運営となり、円滑な事業継続を進めている。
見直し・改善内容	市民スポーツ広場は整備から５０年以上経過しており、老朽化が進んでいることから、設備器具のメンテナンスなどの適正な維持管理を行い、施設使用者が安心・安全に使用できるようにする必要がある。また、施設の拡充を含め様々なスポーツニーズへの対応を検討する必要がある。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

14122　**市民温水プール管理運営事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ施設費		
	大事業	スポーツ施設事業		
	中事業	市民温水プール管理運営事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市スポーツ推進計画	
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課　片山　顕彦	435-1364
事業実施の根拠法令		関連課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	利用者サービスの向上、スポーツの振興、地域福祉の増進を図る。	市民温水プールの管理運営業務を、指定管理者が自ら創意工夫を活かし、利用者サービスの向上やスポーツの振興、地域福祉の増進を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出。また、市民温水プールの庁用器具、維持修繕等に要する費用を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出。また、市民温水プールの庁用器具、維持修繕等に要する費用を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出。また、市民温水プールの庁用器具、維持修繕等に要する費用を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出。また、市民温水プールの庁用器具、維持修繕並びに設備強化に要する費用を支出する。	指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出。また、市民温水プールの庁用器具、維持修繕並びに設備強化に要する費用を支出する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		84,144	84,297	87,819	88,060	86,140	90,728	87,694	0	0	0
伸び率（%）		△4.8%	△8.9%	4.4%	4.5%	△1.9%	3%	1.8%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	936	1,013	3,276	1,950	1,831	2,070	5,174	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	51	51	0	0	0	0
	小計	936	1,013	3,276	1,950	1,882	2,121	5,174	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		6,202	6,932	9,548	10,062	6,926	6,974	6,667	0	0	0
一般財源（税等）		77,942	77,365	78,271	77,998	79,214	83,754	81,027	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.12	0.13	0.42	0.25	0.23	0.26	0.65	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		管理運営委託料　85,307千円、所々修繕料　750千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	温水プール数	館	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	利用者数（大人）	人	目標値	33,000	33,000	33,000	33,000	55,000
			実績値	51,696	53,720	52,908		
			達成度(%)	156.65%	162.79%	160.32%	%	%
	利用人数（小人）	人	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	10,000
			実績値	6,079	6,295	7,337		
			達成度(%)	33.77%	34.97%	40.76%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	市民温水プールは、（公財）和歌山市文化スポーツ振興財団が、指定管理者として管理運営を行っている。当財団は、平成１８年度から市民温水プールの指定管理を行っており、使用者が安全・安心に施設を使用できることを第一に考え、市民スポーツの振興、スポーツの余暇活動の場として最良の状態で提供できるように努めてきたが、令和９年度から新たな指定管理者による運営となり、円滑な事業継続を進めている。
見直し・改善内容	市民温水プールは、建設から４０年以上経過しており、大規模改修に係る費用が増加すると見込まれるため、設備機器の保守やメンテナンスを実施するなど、適正な維持管理を行うための施策が必要である。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

10744　　**済州島マラソン派遣事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	2	スポーツを通じた地域振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ振興費		
	大事業	スポーツ振興事業		
	中事業	済州島マラソン派遣事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	片山　顕彦	435-1364
事業実施の根拠法令		関連課	国際交流課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	マラソンを通して本市と済州市との交流を図る。	和歌山市と姉妹都市である済州市との友好親善を図ることを目的に、済州島マラソンへ参加するため、前年度の和歌山ジャズマラソンの上位入賞者の中から数名を済州市に派遣する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	済州市で開催される済州島マラソンに和歌山ジャズマラソン上位入賞者を派遣するにあたり、和歌山ジャズマラソンのPR及び旅券発行等を旅行業者に業務委託する。	済州市で開催される済州島マラソンに和歌山ジャズマラソン上位入賞者を派遣するにあたり、参加費用の軽減を図るため、航空費用等を補助金として交付する。	済州市で開催される済州島マラソンに和歌山ジャズマラソン上位入賞者を派遣するにあたり、和歌山ジャズマラソンのＰＲ及び旅券発行等を旅行業者に業務委託する。	済州市で開催される済州島マラソンに和歌山ジャズマラソン上位入賞者を派遣するにあたり、和歌山ジャズマラソンのＰＲ及び旅券発行等を旅行業者に業務委託する。	済州市で開催される済州島マラソンに和歌山ジャズマラソン上位入賞者を派遣するにあたり、和歌山ジャズマラソンのＰＲ及び旅券発行等を旅行業者に業務委託する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		650	555	618	605	696	695	702	0	0	0
伸び率（%）		16.9%	0%	△4.9%	9%	12.6%	14.9%	0.9%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	936	1,013	1,638	1,950	1,831	2,070	2,070	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	936	1,013	1,638	1,950	1,831	2,070	2,070	0	0	0
国庫支出金		200	197	220	220	247	247	249	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		450	358	398	385	449	448	453	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.12	0.13	0.21	0.25	0.23	0.26	0.26	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		業務委託料　494千円、　外国出張旅費　167千円、消耗品費　35千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	済州島マラソン大会へ選手を派遣する	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	済州島マラソンへの派遣者数	人	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	毎年、前年に開催された市民マラソンにおいて、上位入賞した和歌山市在住又は、通勤、通学をする選手の中から若干名を、５月頃に開催する済州国際観光マラソン大会に派遣する。派遣された選手は入賞するなど、優秀な成績を残すことが非常に多い。この事業は、姉妹都市である済州市と友好・親善を図ることを目的にした、両都市を往来する唯一の交流事業であり、行政だけではなく市民が主体となって相互の派遣も実現されており、本市として民間交流を推進する上で非常に意義のある事業である。また、マラソン交流を機会にお互いの都市を知る上で相互理解とPR効果が期待でき、事業を継続することで、済州市との良好な関係を保つことができる。
見直し・改善内容	友好・親善を図るとともに、本市のＰＲも事業目的として加えることとする。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

10749　　**市民マラソン開催事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	2	スポーツを通じた地域振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ振興費		
	大事業	スポーツ振興事業		
	中事業	市民マラソン開催事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市スポーツ推進計画		
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	片山　顕彦	435-1364
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	市民のスポーツへの関心と、体力向上を図る。	和歌山市最大規模を誇るスポーツイベント「ジャズマラソン」を開催することにより、市民のスポーツ意識の向上や、体力の向上を図ることを目的とします。 また、１万人規模の大会で集客力も期待でき、本市地域の活性化にも寄与します。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	協賛・協力企業訪問等に係る管外出張及びジャズマラソンの運営に係る経費に対して実行委員会に補助金を支出する。	協賛・協力企業訪問等に係る管外出張及びジャズマラソンの運営に係る経費に対して実行委員会に補助金を支出する。	協賛・協力企業訪問等に係る管外出張及びジャズマラソンの運営に係る経費に対して実行委員会に補助金を支出する。	協賛・協力企業訪問等に係る管外出張及びジャズマラソンの運営に係る経費に対して実行委員会に補助金を支出する。	協賛・協力企業訪問等に係る管外出張及びジャズマラソンの運営に係る経費に対して実行委員会に補助金を支出する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		23,480	21,790	23,448	23,427	23,447	23,430	23,449	0	0	0
伸び率（%）		36.8%	△7.9%	△0.1%	7.5%	0%	0%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	22,753	24,234	19,807	23,706	22,050	24,836	22,766	0	0	0
	正規職員以外	772	0	0	815	0	1,167	3,651	0	0	0
	小計	23,525	24,234	19,807	24,521	22,050	26,003	26,417	0	0	0
国庫支出金		6,696	5,882	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		8,000	6,400	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	0	0	0
一般財源（税等）		8,784	9,508	15,448	15,427	15,447	15,430	15,449	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	2.92	3.11	2.54	3.04	2.77	3.12	2.86	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.40	0.00	0.00	0.42	0.00	0.46	1.44	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		市民マラソン開催交付金　23,392千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	大会参加者数	人	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
			実績値	7379	7261	8,063		
			達成度(%)	61.50%	60.51%	67.19%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	他市町村からの大会参加者数	人	目標値	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
			実績値	4,131	4,112	4,841		
			達成度(%)	57.38%	57.11%	67.23%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	本市最大規模のスポーツイベント「和歌山ジャズマラソン」は、市民のスポーツ意欲向上への核としての位置づけで、市民のスポーツ意識向上、親子の触れ合いなどの大切さを実感できるようなイベントとして定着している。健康志向の人や、競技目的の人など、県内外から参加した人たちが、和歌浦の景色を堪能し、ジャズの音色で楽しく走れるマラソンであり、市民の方々にも定着しており、市の施策として重要かつ高い貢献をしている事業である。
見直し・改善内容	和歌山ジャズマラソンの魅力を高め、多くの参加者が満足し、リピーターが増えるよう課題等を抽出し、関係機関等と協議、調整をしながら更に充実した大会になるよう随時見直しを行う。また、参加者が市内へ宿泊、滞留をして、本市の観光スポットや文化施設に立ち寄っていただけるよう、創意工夫に努める。

事務事業チェックシート

事務事業No　17764　　事業名　つつじが丘総合公園整備事業

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	2	スポーツを通じた地域振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ振興費		
	大事業	スポーツ振興事業		
	中事業	つつじが丘総合公園整備事業		

事業種別	単年	関連個別計画			
事業年度	令和3年度　～　令和7年度	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	片山　顕彦	435-1364
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	利用者サービス、利便性の向上を図る。	つつじが丘テニスコート場を中心とする総合公園を整備し、地域福祉の増進を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	多世代が交流できる総合公園を整備する。障害の有無にかかわらず遊べる遊具の設置や、新たなスポーツ種目に取り組むきっかけとなる施設等の整備を進める。	多世代が交流できる総合公園を整備する。障害の有無にかかわらず遊べる遊具の設置や、新たなスポーツ種目に取り組むきっかけとなる施設等の整備を進める。	多世代が交流できる総合公園を整備する。障害の有無にかかわらず遊べる遊具の設置や、新たなスポーツ種目に取り組むきっかけとなる施設等の整備を進める。	終了	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		217,500	87,000	136,020	432,016	0	62,005	0	0	0	0
伸び率（%）		25%	△56.3%	△37.5%	396.6%	△100%	△85.6%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	20,883	22,208	18,092	19,729	4,617	5,174	0	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	20,883	22,208	18,092	19,729	4,617	5,174	0	0	0	0
国庫支出金		108,750	43,500	68,010	216,007	0	31,003	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		97,800	39,100	61,200	194,400	0	27,900	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	17,900	0	3,102	0	0	0	0
一般財源（税等）		10,950	4,400	6,810	3,709	0	0	0	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	2.68	2.85	2.32	2.53	0.58	0.65	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		整備工事請負費　0千円（令和６年度から繰越のため）									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	住民との意見交換	回	目標値	2	1	1		
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0％	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	施工事業者との毎月の協議	回	目標値	24	24	1		
			実績値	24	14	1		
			達成度(%)	100%	58.33%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止	○			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	運動施設、駐車場を含むつつじが丘総合公園を整備することで多世代が交流できる場所を利用者に提供する。また、地震や津波などの災害時には、一時的な避難場所としても提供する。
見直し・改善内容	令和７年５月に完成。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

18428　**自転車活用推進事業**

［長期総合計画］

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	4	スポーツの振興
取組方針	2	スポーツを通じた地域振興

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画費		
	目	交通政策費		
	大事業	交通政策事業		
	中事業	自転車活用推進事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市自転車活用推進計画	
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	交通政策課	高木　啓江　435-1016
事業実施の根拠法令	自転車活用推進法	関連課	道路政策課　等	

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	広域連携を行うことで、全国からサイクリストを呼び込み、にぎわいを創出する	サイクリング先進地域との広域連携強化するとともに、自転車活用推進計画に基づき、自転車を誰もが安全で快適に利用できる環境づくりなどに取り組んでいく。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	・太平洋岸自転車道終点モニュメントの維持・管理 ・和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理 ・シェアサイクル事業の実施に向けた検討	・太平洋岸自転車道終点モニュメントの維持・管理 ・和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理 ・シェアサイクル事業の実施に向けた検討	・太平洋岸自転車道終点モニュメントの維持・管理 ・和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理 ・シェアサイクルの拡充及び普及促進	・太平洋岸自転車道終点モニュメントの維持・管理 ・第２次和歌山市自転車活用推進計画の策定 ・シェアサイクル事業の実施に向けた検討	・太平洋岸自転車道終点モニュメントの維持・管理 ・第２次和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理 ・シェアサイクルの拡充及び普及促進

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		68	10	70	45	72	45	68	0	68	0
伸び率（%）		0%	△87.3%	2.9%	350%	2.9%	0%	△5.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	10,208	1,948	10,216	1,794	2,150	2,150	8,836	0	8,836	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	10,208	1,948	10,216	1,794	2,150	2,150	8,836	0	8,836	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		68	10	70	45	72	45	68	0	68	0
所要人数（人）	正規職員	1.31	0.25	1.31	0.23	0.27	0.27	1.11	0.00	1.11	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		管外出張旅費62千円、各種会議負担金10千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	要望活動回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	要望活動回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	自転車は、他の交通機関と比べて環境にやさしい交通手段であり、子どもから高齢者まで幅広い世代において、便利で身近な乗り物として、通勤・通学、買い物、サイクリング、観光・レジャー等、日常生活から余暇活動まで、さまざまな場面で利用されている。さらに、近年では、健康づくりや環境意識の高まりなどもあって、移動手段として利用ニーズも増加しており、本市の実情に応じた幅広い事業の展開が必要である。
見直し・改善内容	令和８年度に第２次和歌山市自転車活用推進計画の策定を行い、自転車を誰もが安全で快適に利用できる環境を目指し、各課が実施する事業の進捗管理に取り組んでいく。また、シェアサイクル事業においては、引き続き関連事業者と連携・協力し、持続可能な事業として、ポートの拡充や普及促進を図っていく。